

栃木県地域公共交通計画 (資料編)

栃木県

令和6(2024)年3月

目次

第1章	検討経緯	1
1-1	栃木県地域公共交通活性化協議会	1
1-2	検討経緯・経過	7
第2章	栃木県の地域特性	9
2-1	人口動向	9
2-2	大規模施設の立地状況	11
第3章	栃木県内の地域公共交通の状況	24
3-1	輸送資源の概況	24
3-2	移動実態	34
第4章	公共交通ネットワーク図	42
4-1	公共交通ネットワーク図の設定 STEP	42
4-2	公共交通ネットワーク図（地域別）	59
第5章	目標値の設定	62
5-1	目標値の算出根拠	62

第1章 検討経緯

1-1 栃木県地域公共交通計画活性化協議会

(1) 規約

栃木県地域公共交通活性化協議会規約

(設置)

第1条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号。以下「法」という。）第6条第1項の規定に基づき、栃木県地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織)

第2条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、法第6条第2項各号に掲げる者のうちから、知事が任命する。

3 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

5 協議会に、地域公共交通計画の作成及び実施に関し助言等を求める必要があると認めるときは、アドバイザーを置くことができる。

6 アドバイザーは、地域公共交通計画の作成及び実施に関し専門的な知識又は経験を有する者のうちから、知事が選任する。

(会長)

第3条 協議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、委員のうちからあらかじめ会長が指名した委員が、その職務を代理する。

(監査)

第4条 協議会に監査委員を2名置く。

2 監査委員は、委員の中から会長が指名する。

3 監査委員は、協議会の出納監査を行い、その結果を会長に報告しなければならない。

(部会)

第5条 協議会は、特別の事項を調査審議するため必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

2 部会には、特別委員を置くことができる。

3 特別委員は、当該特別の事項に関し十分な知識又は経験を有する者のうちから、知事が任命する。

4 部会に属すべき委員（第2項の規定により特別委員を置く場合にあっては、委員及び特別委員。以下この条において同じ。）は、会長が指名する。

5 部会に部会長を置き、当該部会に属する委員の互選によりこれを定める。

- 6 部会長は、当該部会を総理し、当該部会を代表する。
- 7 部会長に事故があるときは、当該部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 前3項の規定は、部会の会議において準用する。この場合において、第1項中「会長」とあるのは「部会長」、第2項及び前項中「委員」とあるのは「委員（第5条第2項の規定により特別委員を置く場合にあっては、委員及び特別委員）」と読み替えるものとする。

(関係者からの意見の聴取等)

第7条 会長又は部会長は、必要があるときは、協議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(経費)

第8条 協議会の運営に関する経費は、補助金、負担金その他収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第9条 協議会の収支予算は協議会の議決により定め、協議会の収支決算は監査委員の監査を経て協議会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第10条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、県土整備部交通政策課において処理する。

(委任)

第12条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

- 1 この規約は、令和4（2022）年2月7日から施行する。
- 2 この規約の実施後最初に委嘱される委員の任期は、第2条第3項の規定にかかわらず、令和7（2025）年3月31日までとする。

(2) 協議会名簿

① 委員

No.	法6条 2項	区分	所属		役職	備考
1	1号	地方公共 団体	栃木県	県土整備部 交通政策課	課長	
2			栃木県市長会	宇都宮市 総合政策部交通政策課	課長	
3			栃木県町村会	茂木町 企画課	課長	
4	2号	公共交通 事業者等	東日本旅客鉄道(株)	大宮支社 経営戦略ユニット	ユニットリーダー	
5			東武鉄道(株)	経営企画本部	課長	
6			(一社) 栃木県バス協会		専務理事	
7			(一社) 栃木県タクシー協会		専務理事	
8		道路管理者	国土交通省 関東地方整備局	宇都宮国道事務所 計画課	課長	
9			栃木県	県土整備部 道路保全課	課長	
10		3号	公安委員会	栃木県警察本部	交通部 交通企画課	交通事故 抑止対策官
11	学識経験者		国立大学法人福島大学 経営経済学類 公立大学法人前橋工科大学 学術研究院		准教授 特任准教授	会長
12			学校法人帝京大学 経済学部		准教授	
13	地域公共交 通の利用者		公募委員		-	
14	その他 必要と 認める者		国土交通省 関東運輸局	栃木運輸支局	首席運輸 企画専門官	
15			栃木県教育委員会		委員	
16			(同) MoDip		代表	
17			(社福) 栃木県社会福祉協議会		事務局長	
18		(株) JTB	宇都宮支店	課長		

② アドバイザー

No.	所属		役職	備考
1	国土交通省関東運輸局	交通政策部 交通企画課	課長	

(3) 地域部会委員・特別委員名簿

① 県央地域部会

No.	区分	所属		役職	備考
1	地方公共 団体	栃木県	県土整備部交通政策課	課長	部会長
2		宇都宮市	総合政策部交通政策課	課長	
3		鹿沼市	市民部生活課	課長	
4		日光市	建設部都市計画課	課長	
5		真岡市	総合政策部総合政策課	課長	
6		下野市	市民生活部安全安心課	課長	
7		上三川町	地域生活課	課長	
8		益子町	総務部企画課	課長	
9		茂木町	企画課	課長	
10		市貝町	企画財政課	課長	
11		芳賀町	建設産業部都市計画課	部長兼課長	
12		壬生町	総務部総合政策課	課長	
13		高根沢町	地域安全課	課長	
14		塩谷町	くらし安全課	課長	
15	鉄道事業者	東日本旅客鉄道（株）	大宮支社 経営戦略ユニット	ユニットリーダー	
16		東武鉄道（株）	経営企画本部	課長	
17		真岡鐵道（株）		専務取締役	
18		野岩鐵道（株）		常務取締役 総務部長	
19		わたらせ渓谷鐵道（株）		代表取締役	
20	一般乗合 旅客自動車 運送事業者	関東自動車（株）	路線バス部	部長	
21		ジェイアールバス関東（株）	宇都宮支店	支店長	
22		東武バス日光（株）		取締役 運輸統括部長	
23		日光交通（株）		専務取締役	
24	公共交通 関連団体	（一社）栃木県バス協会		専務理事	
25		（一社）栃木県タクシー協会		専務理事	

② 県北地域部会

No.	区分	所属		役職	備考
1	地方公共 団体	栃木県	県土整備部交通政策課	課長	部会長
2		大田原市	市民生活部生活環境課	課長	
3		矢板市	市民生活部生活環境課	課長	
4		那須塩原市	市民生活部生活課	課長	
5		さくら市	総合政策部総合政策課	課長	
6		那須烏山市	まちづくり課	課長	
7		塩谷町	くらし安全課	課長	
8		那須町	ふるさと定住課	課長	
9		那珂川町	生活環境課	課長	
10	鉄道事業者	東日本旅客鉄道（株）	大宮支社 経営戦略ユニット	ユニットリーダー	
11	一般乗合 旅客自動車 運送事業者	関東自動車（株）	路線バス部	部長	
12		ジェイアールバス関東（株）	西那須野支店	支店長	
13		しおや交通（株）		代表取締役	
14	公共交通 関連団体	（一社）栃木県バス協会		専務理事	
15		（一社）栃木県タクシー協会		専務理事	

③ 県南地域部会

No.	区分	所属		役職	備考
1	地方公共 団体	栃木県	県土整備部交通政策課	課長	部会長
2		足利市	総合政策部総合政策課	参事兼課長	
3		栃木市	生活環境部交通防犯課	課長	
4		佐野市	都市建設部交通政策課	課長	
5		小山市	都市整備部都市計画課	課長	
6		野木町	産業建設部都市整備課	課長	
7	鉄道事業者	東日本旅客鉄道（株）	大宮支社 経営戦略ユニット	ユニットリーダー	
8		東武鉄道（株）	経営企画本部	課長	
9	一般乗合 旅客自動車 運送事業者	関東自動車（株）	路線バス部	部長	
10		ジェイアールバス関東（株）	佐野支店	支店長	
11		足利中央観光バス（株）		部長	
12		（株）小山中央観光バス		取締役会長	
13		大山タクシー（有）		代表取締役	
14	公共交通 関連団体	（一社）栃木県バス協会		専務理事	
15		（一社）栃木県タクシー協会		専務理事	

1-2 検討経緯・経過

会議名称	開催日時・期間 【開催形式】	議題
令和3(2021)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和4(2022)年 3月24日(木) ～31日(木) 【書面】	(1) 栃木県地域公共交通協議会の設置について (2) 会長の選任について (3) 協議会のスケジュール等について
令和4(2022)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和4(2022)年 4月19日(火) ～28日(火) 【書面】	(1) 会長職務代理者及び監査委員の指名について (2) 協議会運営に係る諸規定の制定について (3) 令和4(2022)年度事業計画(案)について (4) 令和4(2022)年度収支予算(案)について
令和4(2022)年度 第2回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和4(2022)年 7月27日(水) 10:00～12:00 【対面・オンライン】	(1) 栃木県の公共交通について (2) 令和4(2022)年度収支予算の補正について (3) 基礎調査の実施内容について (4) 地域部会の設置について
令和4(2022)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県北地域部会	令和4(2022)年 11月24日(木) 10:00～12:00 【オンライン】	(1) 栃木県地域公共交通計画について (2) 第2回地域公共交通活性化協議会における協議 について (3) 地域の現状について
令和4(2022)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県央地域部会	令和4(2022)年 11月24日(木) 13:30～15:30 【オンライン】	(1) 栃木県地域公共交通計画について (2) 第2回地域公共交通活性化協議会における協議 について (3) 地域の現状について
令和4(2022)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県南地域部会	令和4(2022)年 11月30日(水) 10:00～12:00 【オンライン】	(1) 栃木県地域公共交通計画について (2) 第2回地域公共交通活性化協議会における協議 について (3) 地域の現状について
令和4(2022)年度 第3回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和4(2022)年 12月13日(火) 10:00～12:00 【対面・オンライン】	(1) 前回協議会について (2) 地域部会の開催状況について (3) 基礎調査の実施状況について
令和4(2022)年度 第4回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和5(2023)年 1月13日(金) ～27日(金) 【書面】	(1) 令和4(2022)年度地域公共交通確保維持改善事 業の事業評価について (2) 基礎調査の実施状況について (3) 高校生アンケートの集計結果について (4) 市町アンケートの集計結果について
令和4(2022)年度 第2回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県南地域部会	令和5(2023)年 2月6日(火) 13:00～14:00 【オンライン】	(1) 第3回・第4回栃木県地域公共交通活性化協議会 について (2) 地域の現状と課題について
令和4(2022)年度 第2回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県央地域部会	令和5(2023)年 2月10日(金) 10:00～11:30 【オンライン】	(1) 第3回・第4回栃木県地域公共交通活性化協議会 について (2) 地域の現状と課題について
令和4(2022)年度 第2回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県北地域部会	令和5(2023)年 2月10日(金) 13:30～14:50 【オンライン】	(1) 第3回・第4回栃木県地域公共交通活性化協議会 について (2) 地域の現状と課題について

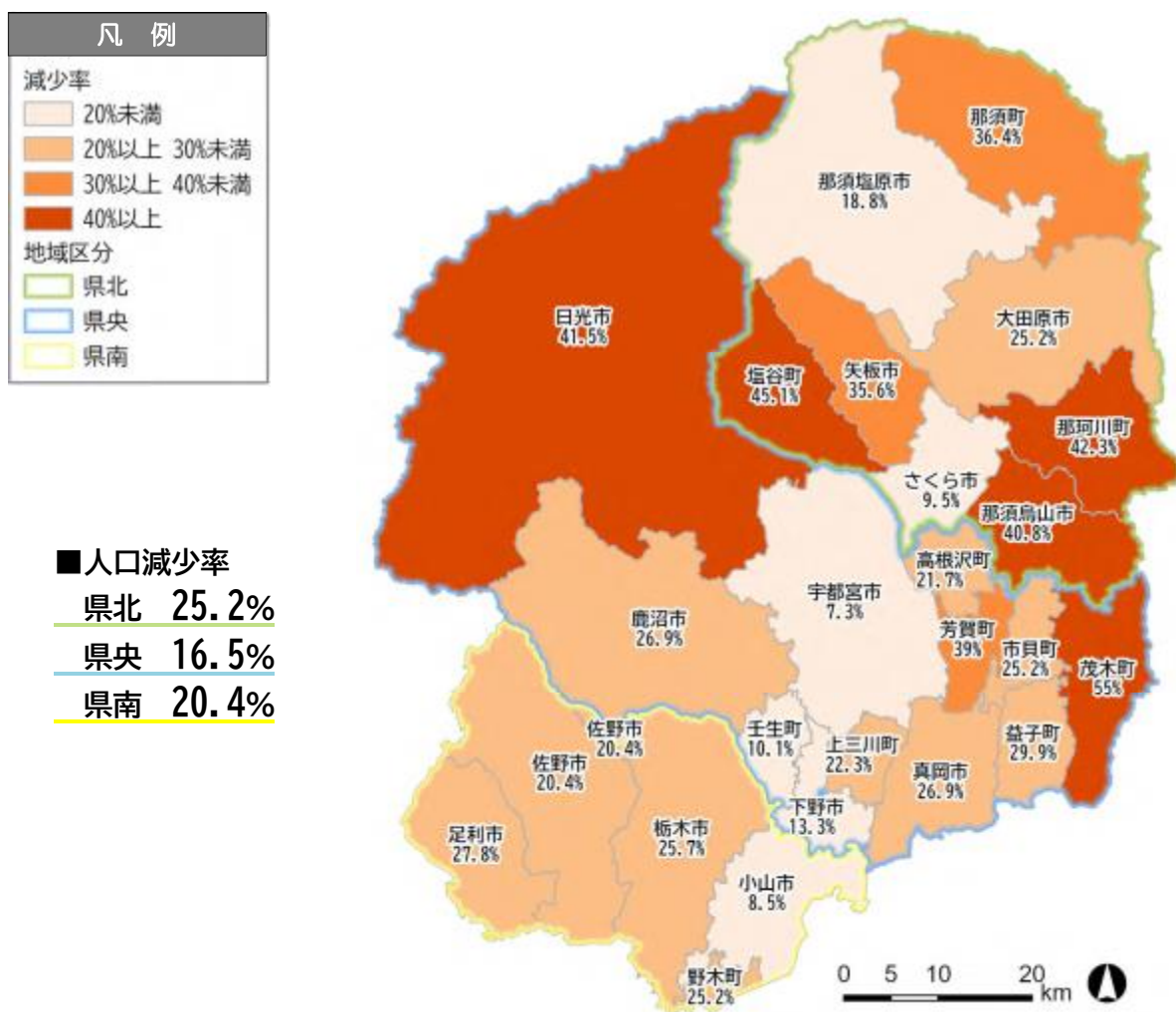
会議名称	開催日時・期間 【開催形式】	議題
令和4(2022)年度 第5回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和5(2023)年 3月15日(水) 10:00~12:00 【対面・オンライン】	(1) 第3回・第4回協議会について (2) 地域部会の開催状況について (3) 計画策定の方向性の整理について (4) 令和4(2022)年度収支予算の流用について (5) 令和5(2023)年度収支予算(案)について
令和5(2023)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県央地域部会	令和5(2023)年 7月5日(水) 10:00~11:30 【オンライン】	(1) 令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協 議会の開催状況について (2) 栃木県地域公共交通計画(仮称)に向けた意見 交換
令和5(2023)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県北地域部会	令和5(2023)年 7月5日(水) 13:30~15:00 【オンライン】	(1) 令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協 議会の開催状況について (2) 栃木県地域公共交通計画(仮称)に向けた意見 交換
令和5(2023)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県南地域部会	令和5(2023)年 7月7日(月) 13:00~14:30 【オンライン】	(1) 令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協 議会の開催状況について (2) 栃木県地域公共交通計画(仮称)に向けた意見 交換
令和5(2023)年度 第1回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和5(2023)年 8月10日(木) 10:00~11:30 【対面・オンライン】	(1) 令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協 議会の開催状況について (2) 令和5(2023)年度第1回地域部会の開催状況に ついて (3) 栃木県地域公共交通計画(仮称)について (4) 令和4(2022)年度栃木県地域公共交通活性化協 議会の収支決算について
令和5(2023)年度 第2回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県北・県央・県南地域部会	令和5(2023)年 8月22日(金)~ 9月4日(月) 【書面】	(1) 公共交通ネットワークの検討における「交通 結節点」・「生活拠点・目的地」・「交通軸」の 設定について
令和5(2023)年度 第2回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和5(2023)年 11月10日(金) 9:30~11:30 【対面・オンライン】	(1) 前回協議会について (2) 栃木県地域公共交通計画について
令和5(2023)年度 第3回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和5(2023)年 12月5日(火) ~15日(金) 【書面】	(1) 栃木県地域公共交通計画(素案)(令和5 (2023)年12月1日版)について
令和5(2023)年度 第3回栃木県地域公共交通 活性化協議会 県北・県央・県南地域部会	令和5(2023)年 12月5日(火) ~15日(金) 【書面】	(1) 栃木県地域公共交通計画(素案)(令和5 (2023)年12月1日版)について
栃木県パブリック・コメント	令和5(2023)年 12月27日(水)~ 令和6(2024)年 1月29日(月)	(1) 栃木県地域公共交通計画案に対するパブリク ・コメント(県民意見の募集)について
令和5(2023)年度 第5回栃木県地域公共交通 活性化協議会	令和6(2024)年 3月8日(金) 15:00~17:00 【対面・オンライン】	(1) 前回協議会等について (2) パブリック・コメントへの対応方針について (3) 栃木県地域公共交通計画の策定について (4) 次年度以降の検討体制について

第2章 栃木県の地域特性

2-1 人口動向

(1) 人口減少率（市町別）

- 人口減少率は、県北地域が最も高く、地方部での人口減少が顕著になっています。



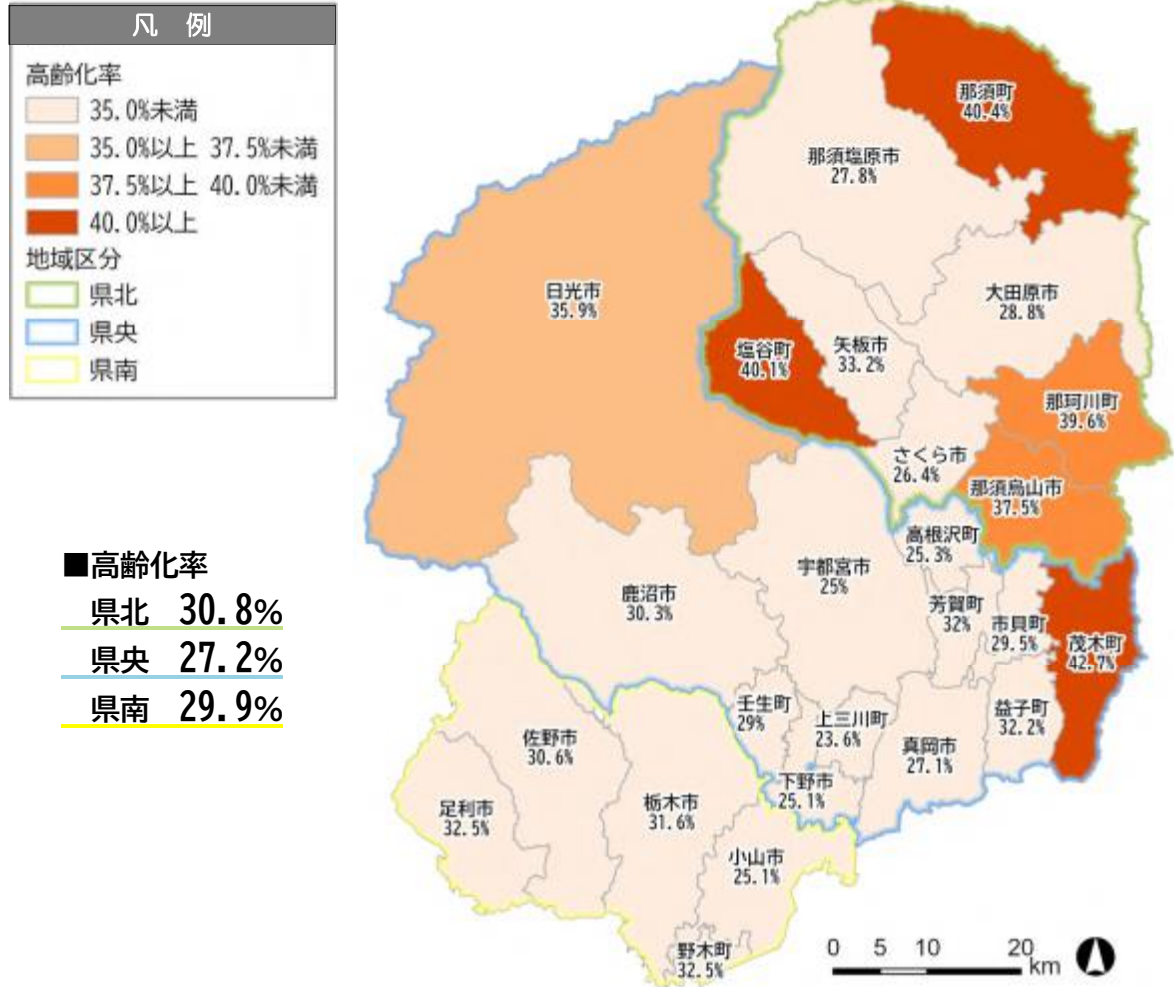
※減少率=(1-(2045年人口/2020年人口))×100

出典：国勢調査（令和2（2020）年まで）
国立社会保障・人口問題研究所 平成30年推計（2025年以降）

図 2-1 市町別の人口減少率

(2) 高齢化率（市町別）

- 高齢化率は、県北地域が最も高く、地方部での高齢化の進行が顕著になっています。



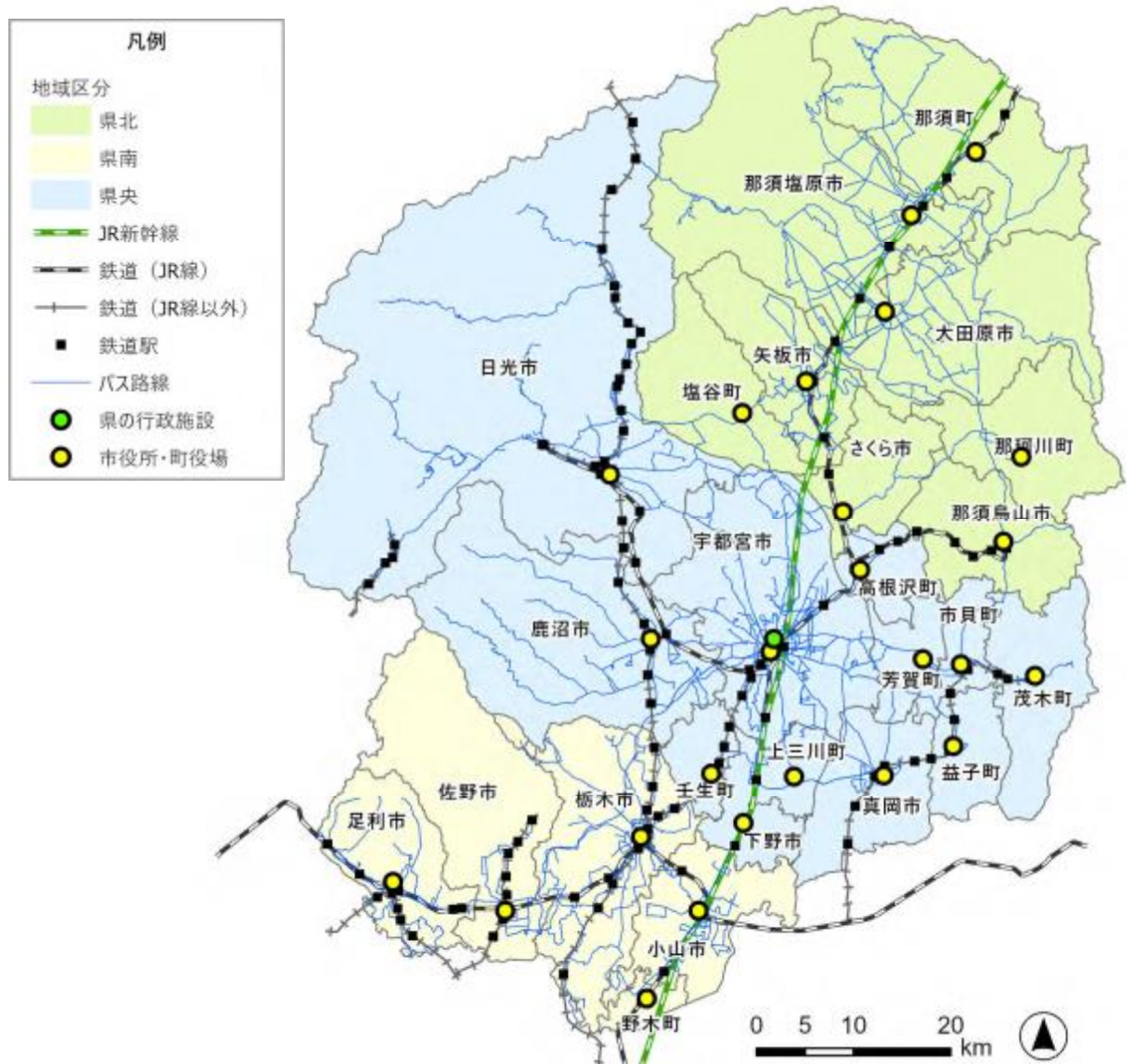
出典：国勢調査（令和2（2020）年まで）
 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年推計（2025年以降）

図 2-2 市町別の高齢化率

2-2 大規模施設の立地状況

(1) 行政施設

- 県庁・市役所・町役場へは、多くの市町で公共交通でのアクセスが可能となっています。
- 益子町・茂木町・壬生町・野木町の役場については、300m以内にバス停がありませんが、鉄道駅の1.5km以内には立地しています。



出典：国土数値情報 市区町村役場(平成 26(2014)年)を基に作成

図 2-3 行政施設の立地状況

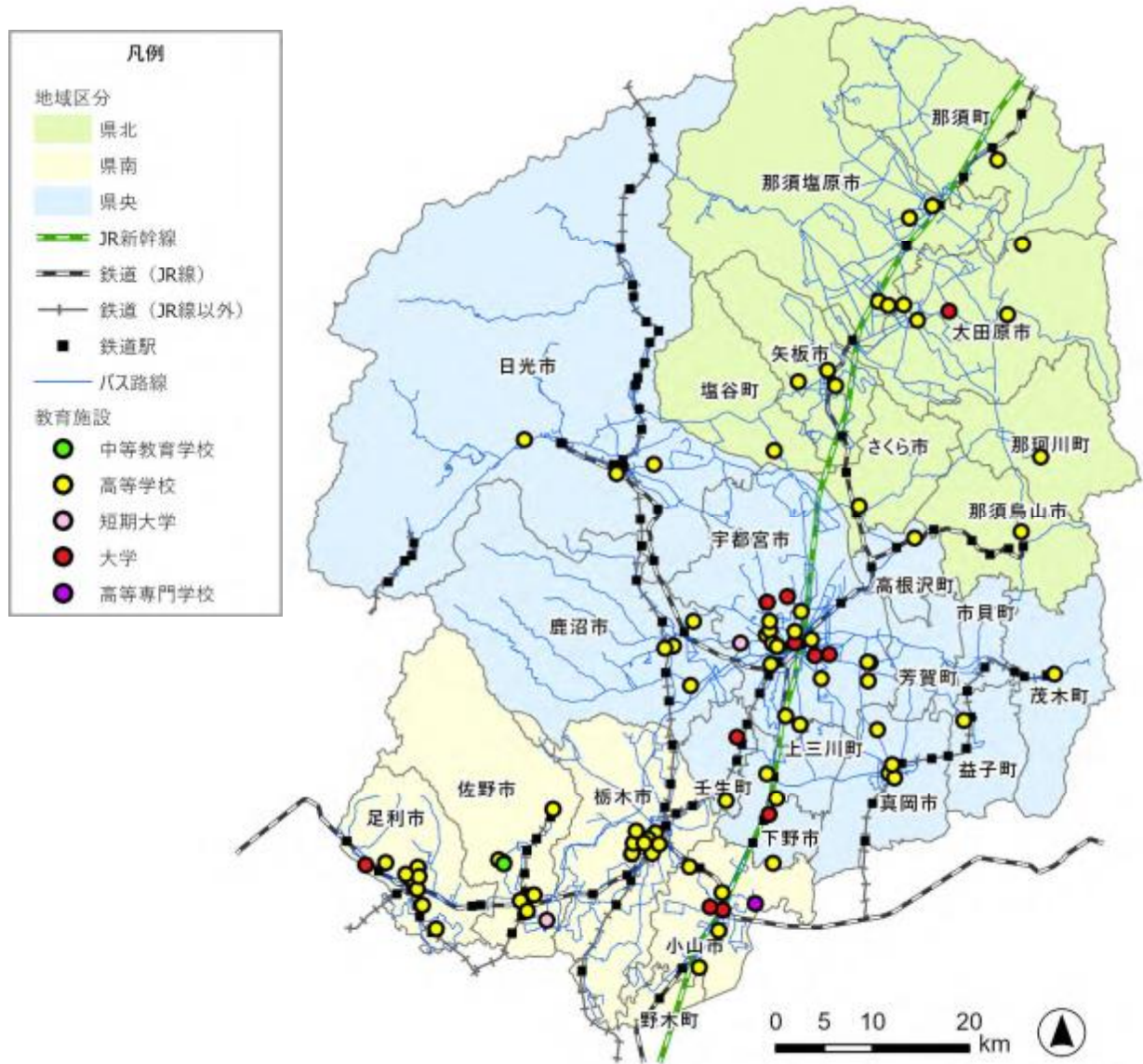
表 2-1 行政施設の立地状況

地域	行政施設名	半径 1.5km 以内 鉄道駅の有無	半径 300m以内 バス停の有無
県北	大田原市役所		○
	矢板市役所	○	○
	那須塩原市役所		○
	さくら市役所	○	○
	那須烏山市役所	○	○
	塩谷町役場		○
	那須町役場	○	○
	那珂川町役場		○
県央	栃木県庁	○	○
	宇都宮市役所	○	○
	鹿沼市役所	○	○
	日光市役所	○	○
	真岡市役所	○	○
	下野市役所	○	○
	上三川町役場		○
	益子町役場	○	
	茂木町役場	○	
	市貝町役場	○	○
	芳賀町役場		○
	壬生町役場	○	
	高根沢町役場	○	○
県南	足利市役所	○	○
	栃木市役所	○	○
	佐野市役所	○	○
	小山市役所	○	○
	野木町役場	○	

出典：国土数値情報 市区町村役場(平成 26(2014)年)を基に作成

(2) 教育施設

- 教育施設は、宇都宮市に多く集積しており、県南地域の都市（栃木市・足利市）では、高等学校の立地が多くなっています。
- 市貝町・芳賀町・野木町には、高等学校の立地がありません。



出典：国土数値情報 学校(令和3(2021)年)

図 2-4 教育施設の立地状況

表 2-2 教育施設の立地状況 (1/2)

地域	市町	種別	施設名	半径 1.5km 以内 鉄道駅の有無	半径 300m 以内 バス停の有無
県北	大田原市	高等学校	大田原高等学校		○
			大田原女子高等学校		○
			黒羽高等学校		○
			大田原東高等学校		○
		大学	国際医療福祉大学		○
	矢板市	高等学校	矢板中央高等学校	○	○
			矢板高等学校		○
			矢板東高等学校	○	○
	那須塩原市	高等学校	那須拓陽高等学校	○	○
			那須清峰高等学校	○	○
			黒磯高等学校	○	○
			黒磯南高等学校		○
	さくら市	高等学校	さくら清修高等学校	○	
	那須烏山市	高等学校	烏山高等学校		○
塩谷町	高等学校	日々輝学園高等学校		△	
那須町	高等学校	幸福の科学学園高等学校		△	
		那須高等学校	○	○	
那珂川町	高等学校	馬頭高等学校		○	
県央	宇都宮市	高等学校	作新学院高等学校		○
			文星芸術大学附属高等学校	○	○
			宇都宮文星女子高等学校		○
			宇都宮短期大学附属高等学校	○	○
			宇都宮海星女子学院高等学校		○
			宇都宮高等学校	○	○
			宇都宮東高等学校		○
			宇都宮女子高等学校	○	○
			宇都宮中央女子高等学校		○
			宇都宮白楊高等学校	○	○
			宇都宮工業高等学校	○	○
			宇都宮商業高等学校	○	○
			宇都宮南高等学校		○
			宇都宮北高等学校		○
			宇都宮清陵高等学校		○
			大学	作新学院大学	
	宇都宮共和大学	○		○	
	文星芸術大学			○	
	宇都宮大学			○	
	宇都宮大学			○	
	帝京大学			○	
	宇都宮短期大学			○	
	短期大学	作新学院大学女子短期大学部		○	
		宇都宮文星短期大学		○	
	鹿沼市	高等学校	鹿沼高等学校	○	○
			鹿沼商工高等学校	○	○
鹿沼東高等学校			○		
鹿沼南高等学校				○	
日光市	高等学校	今市高等学校	○	○	
		今市工業高等学校		○	
		日光明峰高等学校		○	

表 2-3 教育施設の立地状況 (2/2)

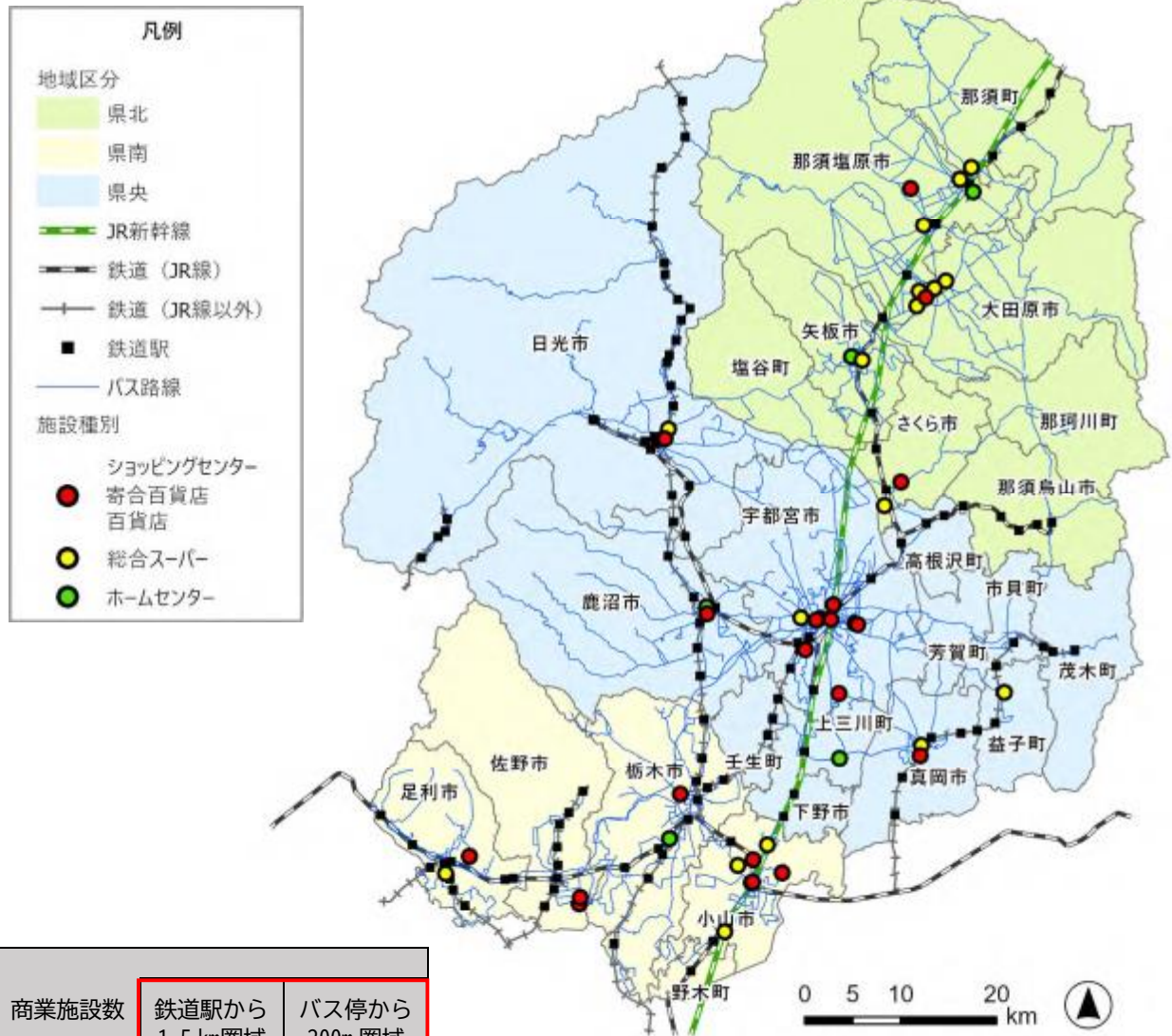
地域	市町	種別	施設名	半径 1.5km 以内 鉄道駅の有無	半径 300m 以内 バス停の有無
県央	真岡市	高等学校	真岡高等学校	○	○
			真岡女子高等学校	○	
			真岡北陵高等学校		○
			真岡工業高等学校	○	○
	下野市	高等学校	石橋高等学校	○	○
		大学	自治医科大学	○	
	上三川町	高等学校	上三川高等学校		
	益子町	高等学校	益子芳星高等学校	○	
	茂木町	高等学校	茂木高等学校	○	
	壬生町	高等学校	壬生高等学校	○	
大学		獨協医科大学	○	○	
高根沢町	高等学校	高根沢高等学校	○		
県南	足利市	高等学校	足利短期大学附属高等学校	○	○
			白鷺大学足利高等学校	○	○
			足利大学附属高等学校	○	
			足利高等学校		
			足利女子高等学校	○	○
			足利工業高等学校		
			足利南高等学校	○	
			足利清風高等学校	○	
		大学	足利大学	○	○
	短期大学	足利短期大学	○	○	
	栃木市	高等学校	國學院大學栃木高等学校		○
			栃木翔南高等学校	○	○
			栃木高等学校	○	○
			栃木女子高等学校	○	○
			栃木農業高等学校		
			栃木工業高等学校		○
			栃木商業高等学校	○	○
			宇都館高等学校	○	○
		短期大学	國學院大學栃木短期大学		○
	佐野市	中等教育学校	佐野日本大学中等教育学校		○
		高等学校	佐野清澄高等学校	○	
			青藍泰斗高等学校	○	
			佐野日本大学高等学校		○
			佐野高等学校	○	○
			佐野東高等学校	○	○
		佐野松枝高等学校		○	
	短期大学	佐野日本大学短期大学		○	
	小山市	高等学校	小山西高等学校	○	○
			小山高等学校		○
			小山城南高等学校		○
			小山北枝高等学校		○
			小山南高等学校		○
		高等専門学校	小山工業高等専門学校		○
大学	白鷺大学	○	○		

※△は、最寄り鉄道駅等からスクールバス等の運行あり。

出典：国土数値情報 学校(令和3(2021)年)

(3) 商業施設

- 大型商業施設は、県内各地域に分布しており、その多くは幹線道路沿いに立地しています。(45 施設のうち 28 施設：62.2%)
- 鉄道駅から 1.5km 以内に 19 施設 (45 施設のうち 19 施設：42.2%)、バス停の 300m 以内に 38 施設 (45 施設のうち 38 施設：84.4%) が立地しています。



商業施設数	施設数	
	鉄道駅から 1.5 km圏域	バス停から 300m 圏域
45 施設	19 施設	38 施設

ターミナル型 駅前・駅近辺型	幹線道路沿型	住宅地域型	商店街・ 商業地型	その他 不明
8 施設	28 施設	5 施設	3 施設	1 施設

※店舗面積 3,000 m²以上かつ上記種別に分類される大型小売店舗を対象とし、立地特性の類型ごとに施設数を整理した。

出典：全国大型小売店舗総覧 令和4(2022)年版

図 2-5 大型商業施設の立地状況

表 2-4 大型商業施設の立地状況

地域	市町	施設名	業態	半径1.5km 以内 鉄道駅の 有無	半径300m 以内 バス停の 有無
県北	大田原市	ショッピングモール大田原(東武宇都宮百貨店大田原店)	百貨店		○
		ドン・キホーテ大田原店	ショッピングセンター		○
		スーパーセンタートライアル大田原店	総合スーパー		○
		ベシア大田原店	総合スーパー		○
	矢板市	ベシア矢板店	総合スーパー	○	○
		カインズ矢板店	ホームセンター	○	○
	那須塩原市	那須ガーデンアウトレット	寄合百貨店		△
		イオンタウン那須塩原(ザ・ビッグエクストラ那須塩原店)	総合スーパー	○	○
		黒磯ショッピングプラザ(MEGAドン・キホーテ黒磯店)	総合スーパー	○	○
		ベシア那須塩原店	総合スーパー		
		エイトタウン那須塩原(ダイユーエイト那須塩原店)	ホームセンター	○	○
	さくら市	イオンタウンさくら(ザ・ビッグエクストラさくら店)	ショッピングセンター		○
		ベシアスーパーセンターさくら氏家店	総合スーパー		
那須町	イオンタウン那須(ザ・ビッグ那須店)	総合スーパー		○	
県央	宇都宮市	福田屋ショッピングプラザ宇都宮店	百貨店		○
		宇都宮東武ビル(東武宇都宮百貨店本店)	百貨店	○	○
		宇都宮ステーションビル・パセオ	寄合百貨店	○	○
		FKD ショッピングモール宇都宮インターパーク店	ショッピングセンター		△
		ベルモールショッピングセンター(イトーヨーカドー宇都宮店)	ショッピングセンター		○
		アピタ宇都宮店	ショッピングセンター	○	○
		宇都宮西口ビル(トナリエ宇都宮)	ショッピングセンター	○	○
		斎藤会館(MEGAドン・キホーテラパーク宇都宮店)	総合スーパー	○	○
		スーパーセンタートライアル宇都宮店	総合スーパー		○
		ベシア宇都宮陽東店	総合スーパー		○
	鹿沼市	鹿沼リバーサイドモール(福田屋鹿沼店)	百貨店	○	○
		ビバホーム鹿沼店	ホームセンター	○	○
	日光市	日光今市ショッピングセンター(イオン今市店)	ショッピングセンター	○	○
		ベシア今市モール店	総合スーパー		○
	真岡市	イオンタウン真岡(ザ・ビッグエクストラ真岡店)	ショッピングセンター	○	○
		ベシア真岡店	総合スーパー	○	○
	上三川町	ケーヨーデイツー上三川店,カスミフードマーケット上三川店	ホームセンター		
	益子町	ベシア益子店	総合スーパー	○	○
	県南	足利市	あしががハーヴェストプレイス(カインズ足利大月店)	ショッピングセンター	
足利地域主導型ショッピングセンター・足利コムファースト(アピタ足利店)			総合スーパー	○	○
栃木市		イオンシティ栃木ショッピングセンター(イオン栃木店)	ショッピングセンター		○
		カインズモール大平(カインズ大平店)	ホームセンター		○
佐野市		佐野プレミアム・アウトレット	寄合百貨店		○
		イオンモール佐野新都市(イオン佐野新都市店)	ショッピングセンター		○
小山市		小山駅ビル VAL	寄合百貨店	○	○
		おやまゆうえんハーヴェストウォーク	ショッピングセンター		○
		ROBLE(ロブレ)・VAL	ショッピングセンター	○	○
		イオンモール小山(イオン小山店)	ショッピングセンター		○
		スーパーセンタートライアル小山店,サンキ小山喜沢店	総合スーパー		
	ベシアスーパーマーケット小山店	総合スーパー		○	
スーパーセンタートライアル間々田店	総合スーパー		○		

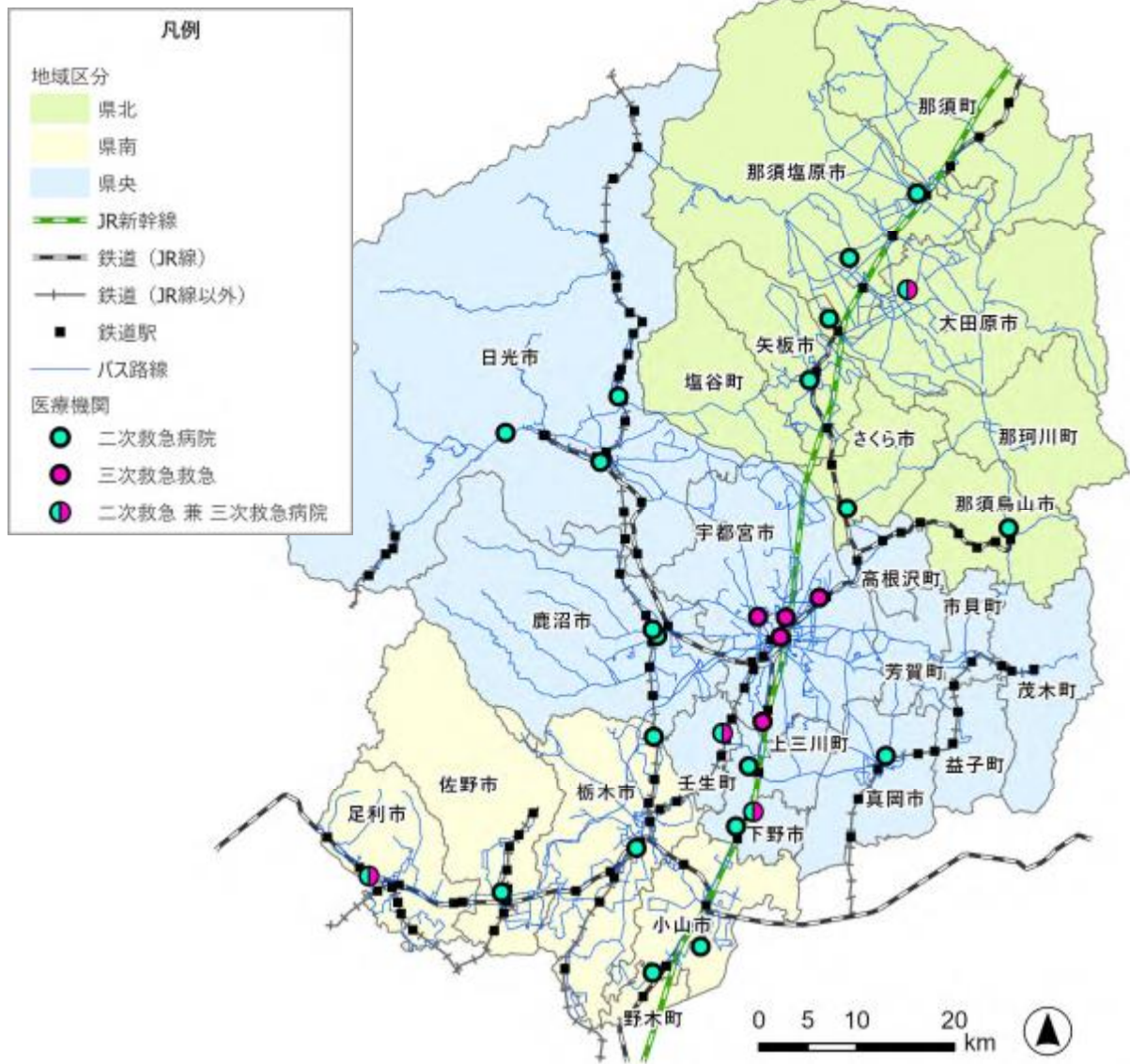
※△は、最寄り鉄道駅等からスクールバス等の運行あり。

※店舗面積 3,000 m²以上かつ上記種別に分類される大型小売店舗を対象とした。

出典：全国大型小売店総覧 令和4(2022)年版

(4) 医療施設

- 二次救急病院は救急医療圏ごとに分散して立地しています。三次救急病院は県央地域に集中していますが、県北地域・県南地域にも1施設ずつ立地しています。
- ほとんどの医療施設ではバス停が300m以内にあります。下野市にある2つの医療施設には半径300m以内のバス停がありません。



出典：栃木県 HP (救命救急センター一覧、二次救急一覧)

図 2-6 救急病院の立地状況

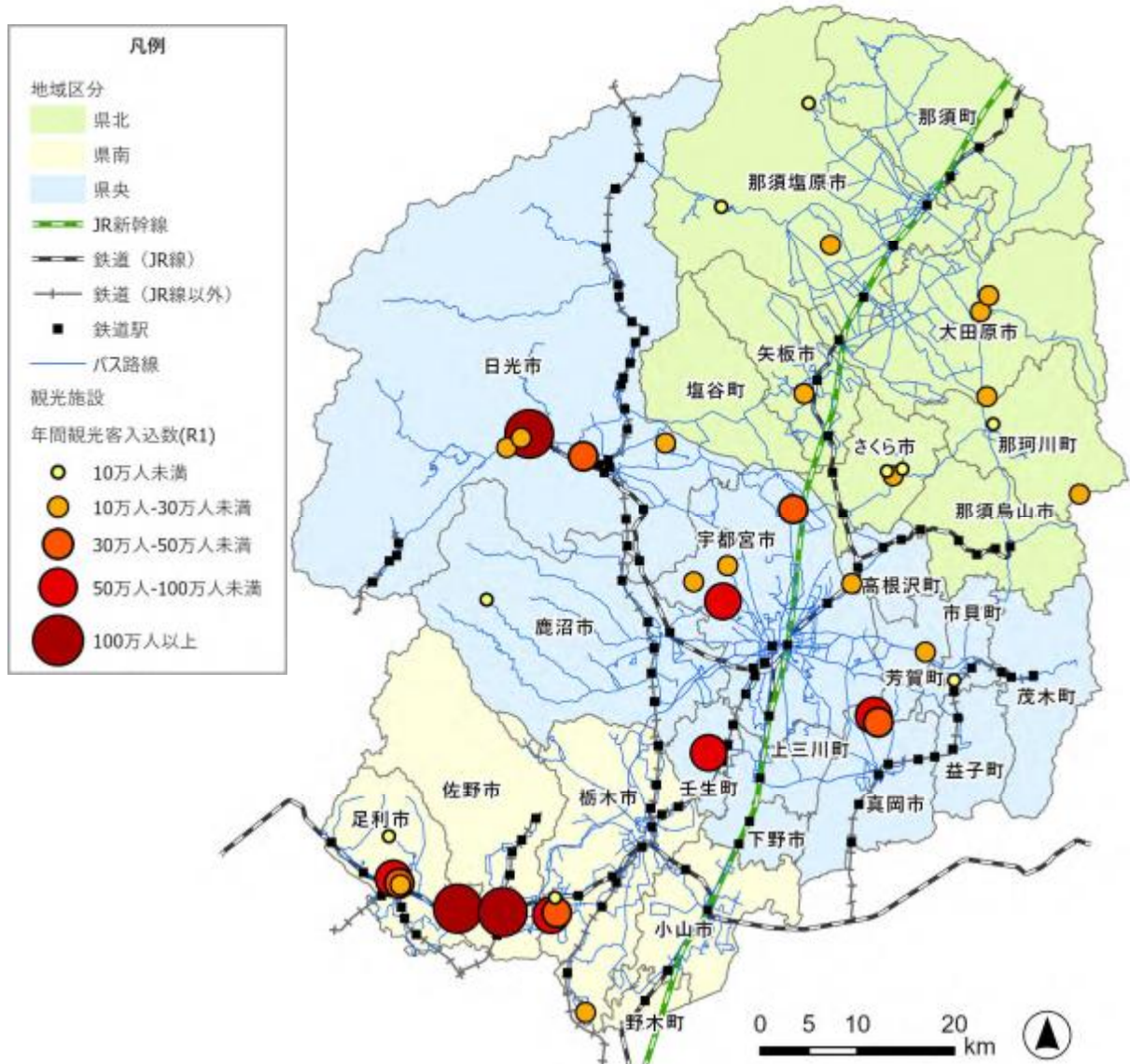
表 2-5 救急病院の立地状況

地域	病院名	三次救急	二次救急	救急医療圏	半径1.5km以内 鉄道駅の有無	半径300m以内 バス停の有無
県北	那須赤十字病院	○	○	那須		○
	菅間記念病院		○	那須	○	○
	那須中央病院		○	那須		○
	国際医療福祉大学病院		○	那須		○
	国際医療福祉大学塩谷病院		○	塩谷	○	○
	黒須病院		○	塩谷	○	○
	那須南病院		○	南那須	○	○
県央	独立行政法人国立病院機構(NHO) 栃木医療センター	○				○
	独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) うつのみや病院	○			○	○
	宇都宮記念病院	○			○	○
	独立行政法人国立病院機構(NHO) 宇都宮病院	○			○	○
	上都賀総合病院		○	鹿沼	○	○
	御殿山病院		○	鹿沼	○	○
	今市病院		○	日光	○	○
	獨協医科大学日光医療センター		○	日光	○	○
	日光市民病院		○	日光		○
	芳賀赤十字病院		○	芳賀	○	○
	石橋総合病院		○	小山	○	
	小金井中央病院		○	小山	○	
	済生会宇都宮病院	○				○
	獨協医科大学病院	○	○	栃木	○	○
	自治医科大学附属病院	○	○	小山	○	○
県南	足利赤十字病院	○	○	両毛	○	○
	西方病院		○	鹿沼	○	○
	とちぎメディカルセンターしもつが		○	栃木	○	○
	新小山市民病院		○	小山		○
	光南病院		○	小山		○
	佐野厚生総合病院		○	両毛	○	○

出典：栃木県 HP（救命救急センター一覧、二次救急一覧）

(5) 観光施設

- 観光客入込数が多い観光施設は、県内各地域に広く分布しています。
- 社寺や道の駅などで観光客入込数が多くなっています。



※新型コロナウイルス流行の影響を受けない令和元(2019年)の数値を用いた。
 ※栃木県栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の対象施設とした。

出典：令和元(2019)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

図 2-7 観光施設の立地状況

表 2-6 観光施設の立地状況

種別	観光施設	観光客 入込数	半径 1.5km 以内 鉄道駅の 有無	半径 300m 以内 バス停の 有無
日帰り公営温泉・入浴施設	地域交流館 ほたるの里梵天の湯	38 万人/年		○
	真岡井頭温泉	34 万人/年		△
	ろまんちっく村 ろまんちっく温泉館	29 万人/年		○
	喜連川温泉第1温泉浴場「もとゆ」	19 万人/年		
	城の湯温泉センター	18 万人/年		○
	道の駅はが「ロマンの湯」	16 万人/年		○
	日光和の代温泉「やしおの湯」	16 万人/年		○
	黒羽温泉「五峰の湯」	13 万人/年		○
	日光市温泉保養センター「かたくりの湯」	12 万人/年		○
	まほろばの湯「湯親館」	10 万人/年		
	板室健康の'ゆ' グリーングリーン	9 万人/年		○
	喜連川温泉第2温泉浴場「露天風呂」	8 万人/年		
	市貝温泉健康保養センター「ゆったりランド市貝」	8 万人/年		
	かんぼの宿 栃木喜連川温泉	8 万人/年		△
	前日光 つつじの湯交流館	7 万人/年		○
塩原温泉「湯っ歩の里」	4 万人/年		○	
植物園等 自然・動	あしかがフラワーパーク	150 万人/年	○	○
	とちぎ花センター	31 万人/年		○
	なかがわ水遊園	29 万人/年		○
	万葉自然公園 かたくりの里	4 万人/年		
大規模公園・複合公園	織姫公園	93 万人/年	○	
	とちぎわんぱく公園	82 万人/年		
	井頭公園	73 万人/年		
	みかも山公園	52 万人/年		○
	日光だいや川公園	43 万人/年		○
	那須野が原公園	26 万人/年		
	鬼怒グリーンパーク	25 万人/年		
	宇都宮市森林公園	23 万人/年		
	渡良瀬遊水地	20 万人/年		○
	日光田母沢 御用邸公園	11 万人/年		○
黒羽城址公園	10 万人/年			
社寺・史跡等	二社一寺	299 万人/年		○
	佐野厄よけ大師	125 万人/年	○	○
	大谷寺・大谷資料館・平和観音	76 万人/年		○
	ばん阿寺	41 万人/年	○	○
	史跡足利学校	15 万人/年	○	○
	鷲子山上神社	12 万人/年		
	行道山浄因寺	7 万人/年		

県北
 県中
 県南

※△は最寄り鉄道駅から送迎バス等の運行あり。
 ※新型コロナウイルス流行の影響を受けない令和元(2019)年の数値を用いた。
 ※栃木県栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の対象施設とした。

出典：令和元(2019)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

(6) 乗降客数の多い鉄道駅

表 2-7 駅別乗降客数

乗降客数の多い駅	地域	乗客数
宇都宮駅	県央	49,118 人/日
小山駅	県南	29,198 人/日
栃木駅	県南	16,466 人/日
佐野駅	県南	7,688 人/日
東武宇都宮駅	県央	7,325 人/日
野木駅	県南	6,826 人/日
石橋駅	県央	6,776 人/日
雀宮駅	県央	6,624 人/日
間々田駅	県南	6,448 人/日
那須塩原駅	県北	6,332 人/日
西那須野駅	県北	6,052 人/日
小金井駅	県央	5,700 人/日
自治医大駅	県央	5,134 人/日
氏家駅	県北	5,038 人/日
足利駅	県南	4,652 人/日
矢板駅	県北	4,416 人/日
黒磯駅	県北	3,856 人/日
岡本駅	県央	3,784 人/日
宝積寺駅	県央	3,270 人/日
鹿沼駅	県央	3,182 人/日
足利市駅	県南	3,150 人/日
新栃木駅	県南	3,100 人/日
新鹿沼駅	県央	2,520 人/日
鶴田駅	県央	2,438 人/日
野崎駅	県北	2,064 人/日
新大平下駅	県南	2,039 人/日

県北
 県央
 県南

※乗降客数の多い鉄道駅（2,000 人/日以上）を抽出。

出典：国土数値情報 駅別乗降客数(令和3(2021)年度)

(7) バス路線乗入駅

表 2-8 バス路線乗入駅

東日本旅客鉄道		東武鉄道		真岡鐵道	
東北線	間々田駅	宇都宮線	新栃木駅	真岡線	真岡駅
	小山駅		野州平川駅		北真岡駅
	小金井駅		野州大塚駅		益子駅
	自治医大駅		おもちゃのまち駅		七井駅
	石橋駅		西川田駅		市塙駅
	雀宮駅		江曾島駅		笹原田駅
	宇都宮駅		南宇都宮駅		天矢場駅
	岡本駅		東武宇都宮駅		茂木駅
	宝積寺駅		藤岡駅	野岩鐵道	
	氏家駅		静和駅	会津鬼怒川線	新藤原駅
	片岡駅	新大平下駅	龍王峽駅		
	矢板駅	栃木駅	川治温泉駅		
	野崎駅	新栃木駅	川治湯元駅		
	西那須野駅	合戦場駅	湯西川温泉駅		
	那須塩原駅	家中駅	上三依塩原温泉		
	黒磯駅	東武金崎駅	わたらせ渓谷鐵道		
	高久駅	榎木駅	わたらせ渓谷線		通洞駅
	黒田原駅	樅山駅		足尾駅	
両毛線	小俣駅	日光線	新鹿沼駅	わたらせ渓谷線	間藤駅
	山前駅		板荷駅		
	足利駅		下今市駅		
	あしかがフラワーパーク駅		上今市駅		
	富田駅		東武日光駅		
	佐野駅		福居駅		
	岩舟駅		足利市駅		
	大平下駅		野州山辺駅		
	栃木駅		佐野線		佐野市駅
	思川駅				佐野駅
小山駅	田沼駅				
日光線	宇都宮駅	鬼怒川線	多田駅		
	鶴田駅		葛生駅		
	鹿沼駅		下今市駅		
	下野大沢駅		大谷向駅		
	今市駅		大桑駅		
烏山線	宝積寺駅	新高徳駅	小佐越駅		
	下野花岡駅	東武ワールドスクエア駅	東武ワールドスクエア駅		
	烏山駅	鬼怒川温泉駅	鬼怒川温泉駅		
		鬼怒川公園駅	鬼怒川公園駅		
		新藤原駅	新藤原駅		

※バス路線乗入駅は鉄道駅から半径 300m以内にバス停がある駅とした。

乗降客数 2,000 人/日以上の駅

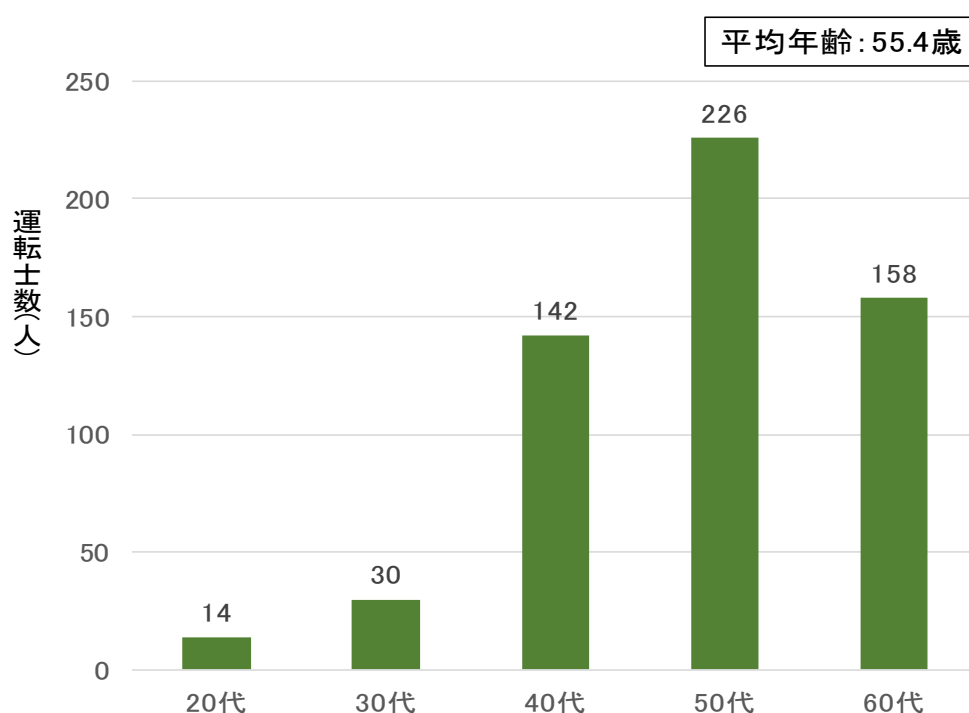
出典：国土数値情報 駅別乗降客数(令和3(2021)年度)

第3章 栃木県の地域公共交通の状況

3-1 輸送資源の概況

(1) バス事業者における運転士の年齢構成

- 栃木県内で市町をまたぐ路線を運行するバス会社、観光路線を運行しているバス会社を対象に運転士の年齢構成を調査（2022年11月時点）しました。
- 運転士の年齢構成は、50代が最も多く、次いで60代、40代が多くなっており、20代、30代の運転士が顕著に少なくなっています。
- **運転士の高齢化、若い世代の担い手の確保が課題**となっています。



※関東自動車、JRバス関東（宇都宮支店、西那須野支店）、東武バス日光、日光交通の乗合・貸切・高速を担当する運転士（契約社員含む）を調査対象とした。

図 3-1 バス事業者における運転士の年齢構成

(2) タクシー

① 営業圏域

- 営業圏域別の運転者数は、宇都宮交通圏域に運転者数全体の約5割が集中しています。
- 人口1万人あたりの運転者数は、日光交通圏が最も多くなっています。



全国の運転者数の減少率は 【約 25.8%】
 栃木県の運転者数の減少率は 【約 21.3%】

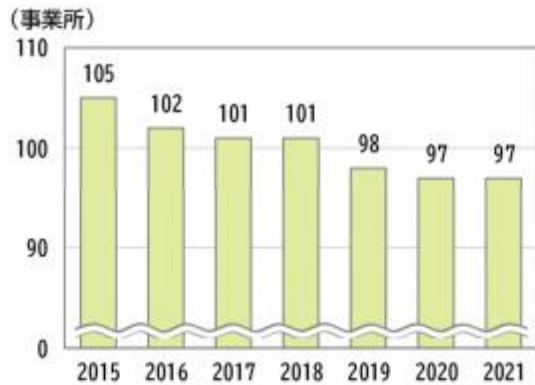
※観光客入込数10万人あたり運転者数は、「令和元(2019)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果」を基に算出。

出典：栃木県タクシー協会ヒアリング（令和4(2022)年時点）

図 3-2 タクシーの営業圏域と事業者数・運転者数

② 現状（事業所数、運転者数と平均年齢、車両台数、営業収入）

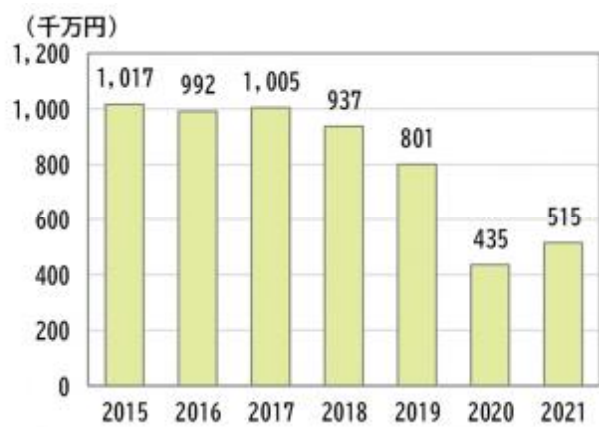
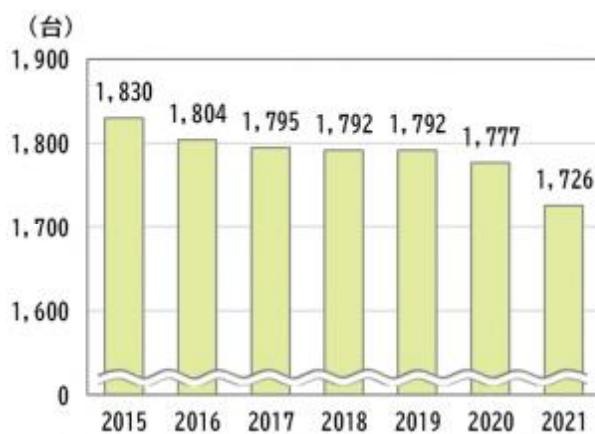
- 事業所数・運転者数・車両台数は年々減少し、運転者の平均年齢は上昇しています。
- 営業収入は、近年減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染症(2020年)の影響により営業収入は激減しています。



出典：栃木県タクシー協会ヒアリング（令和4（2022）年時点）

図 3-3 事業所数の推移

図 3-4 運転者数と平均年齢の推移



出典：栃木県タクシー協会ヒアリング（令和4（2022）年時点）

図 3-5 車両台数の推移

図 3-6 営業収入の推移

(3) 高校スクールバス

① アンケート結果概要

- 全日制 73 校のうち **12 校 (約 16%) がスクールバスを運行**しています。そのうち 8 校は、自校でスクールバスを保有しています。
- 全ての高校でスクールバス運行に係る補助金は受けておらず、**運行経費の負担や運転手の確保などが課題**となっています。

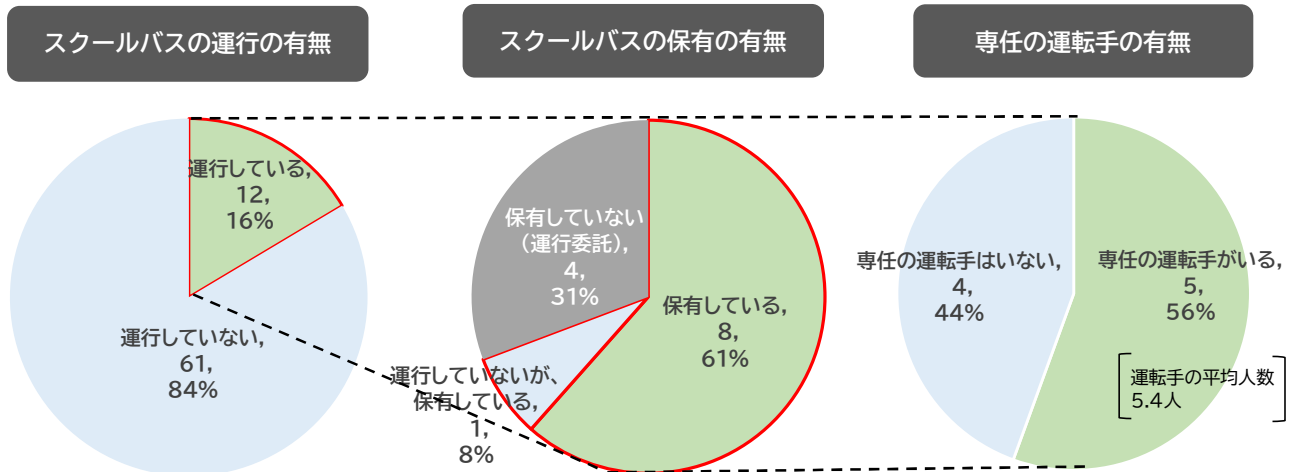


図 3-7 高校スクールバスの運行状況

表 3-1 高校スクールバスの運行に係る車種等の内訳

車種	保有校数 (校)	平均保有台数 (台)
大型バス	4	3.5
中型バス	5	4.4
小型バス	4	1.8
その他 (ハイエースなど)	2	1.5

※1校で複数の車種を保有している場合もあるため、上表の合計は全保有校数(8校)と一致しない。

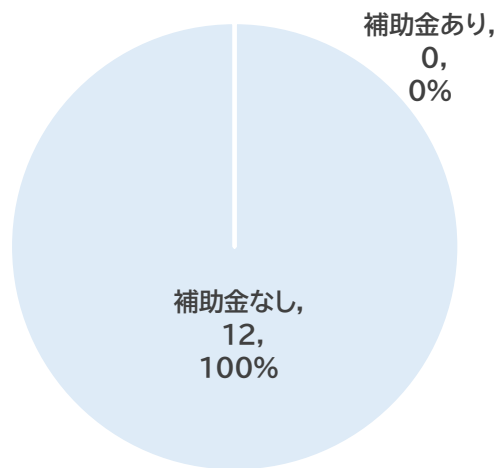


図 3-8 高校スクールバスの運行に係る補助金の有無



※その他… 路線の再編、事故や苦情等の対応 など

図 3-9 高校スクールバスの運行にあたり課題と感ずること

② 高校スクールバスの運行路線・運行エリア

- 県北地域・県央地域・県南地域の高校で、運行エリアは概ね棲み分けがされています。
- 県央地域の高校からは真岡・益子方面、県南地域の高校からは県南各都市のほか、県をまたぐ群馬県や茨城県までが運行エリアとなっています。

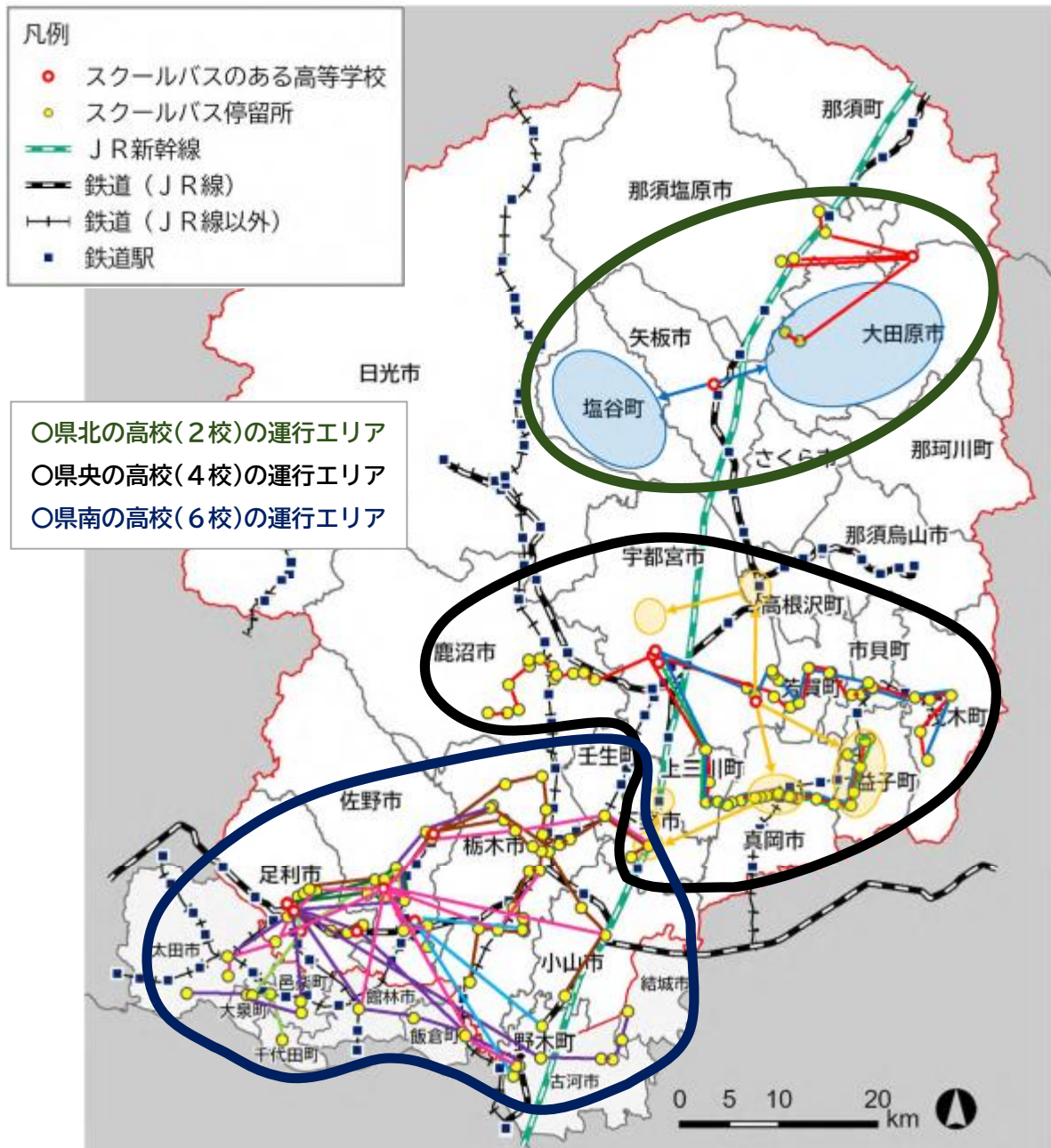


図 3-10 各高校のスクールバス運行路線・運行エリアの重ね合わせ図

(4) 大学スクールバス（アンケート結果概要）

- 栃木県内に立地する大学では、7校舎（6大学）がスクールバスを運行しており、そのうち4校舎でスクールバスを保有しています。
- 大学スクールバスを運行するにあたって、課題として最も多く挙げられた項目は「運行経費」であり、次いで「車両の老朽化」となっています。

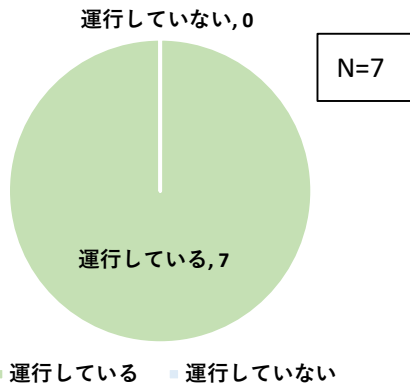


図 3-11 大学スクールバスの運行について

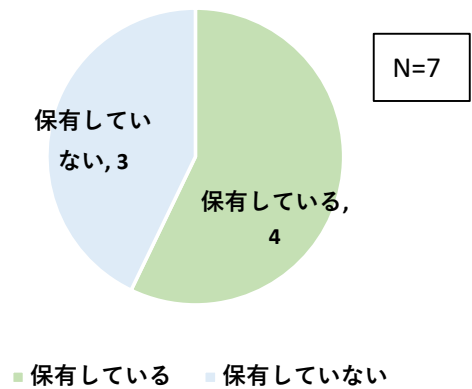


図 3-12 大学スクールバスの保有について

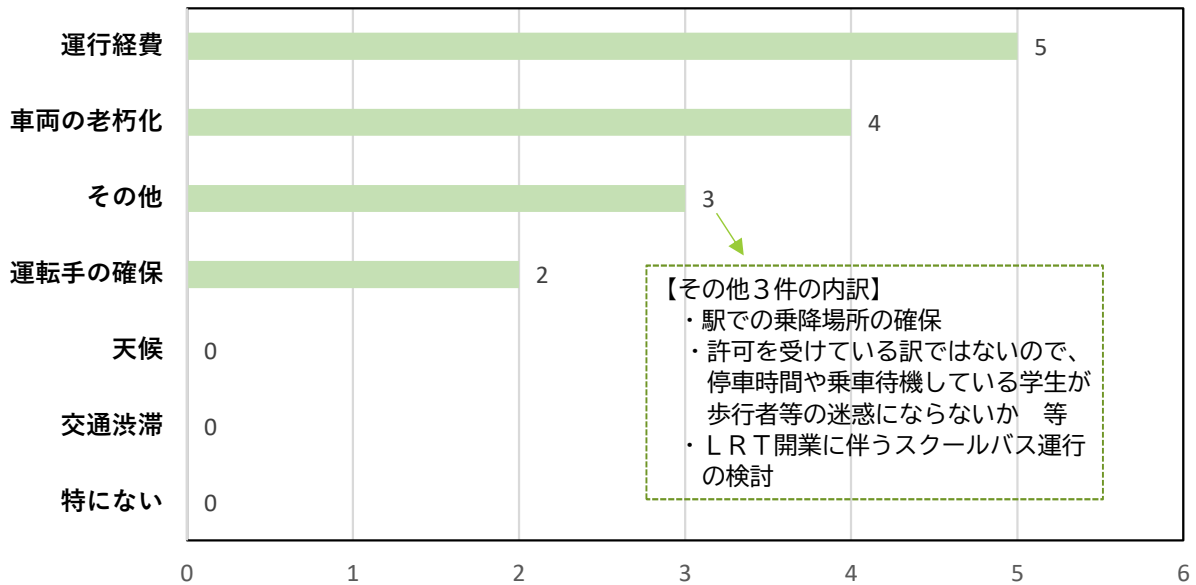


図 3-13 大学スクールバス運行に関する課題

(5) レンタサイクル・シェアサイクル

- レンタサイクルの多くは、鉄道駅周辺に立地しています。
- シェアサイクルは宇都宮市や日光市など、観光の拠点となるエリアにポートが設置されています。



図 3-14 レンタサイクル・シェアサイクルの設置状況

表 3-2 レンタサイクル・シェアサイクルの設置状況

レンタサイクル

	市町	貸出場所
県北	那須塩原市	西那須野駅東口自転車駐輪場(7台)／まちなか交流センターくるる
	大田原市	大田原市観光協会
	さくら市	和い話し広場／さくらテラス駅前情報館(3台)
	那須烏山市	那須烏山市観光協会
	那須町	道の駅那須高原友愛の森(6台)
県央	宇都宮市	宮サイクルステーション(16台)
	鹿沼市	Ookurabike／まちの駅 新・鹿沼宿(7台)
	日光市	日光市観光協会／日光市足尾行政センター(5台)／間藤駅(5台)
	真岡市	真岡市観光協会／真岡駅(5台)
	下野市	オアシスポップ館／自治医科大駅東自転車駐輪場／石橋駅自転車駐輪場／三王山ふれあい公園管理事務所／下野薬師寺歴史館
	益子町	道の駅ましこ／益子町観光協会／益子駅(15台)
	茂木町	茂木駅(3台)
	市貝町	道の駅サシバの里いちかい
	芳賀町	芳賀温泉ロマンの湯(5台)
	壬生町	おもちゃの町駅地下駐輪場(11台)／道の駅みぶ「みらい館」(8台) 壬生駅前「小出自転車一時預かり所」(10台)／壬生タクシー(2台)
矢板市	城の湯やすらぎの里	
県南	小山市	小山市観光協会／まちの駅思季彩館
	栃木市	栃木市観光協会
	佐野市	アルシオーネ・コート佐野
	足利市	太平記館(31台)／足利観光交流館 あし・ナビ(32台)
	野木町	野木駅西口(7台)／野木ホフマン館(14台)／きらり館(6台)

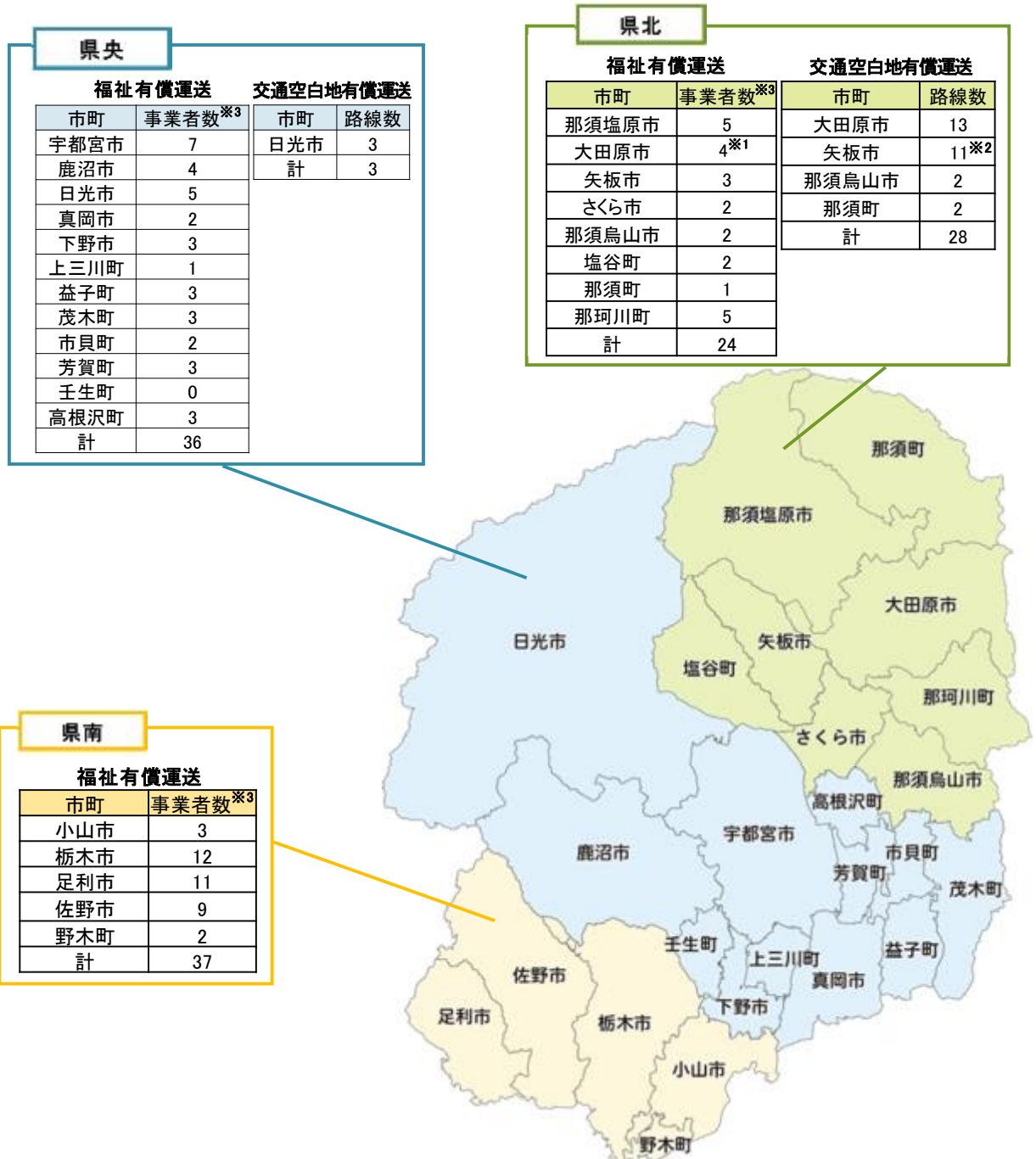
シェアサイクル

	市町	貸出ポート数
県央	宇都宮市	市内10か所(社会実験)
	日光市	日光シェアサイクル14か所／奥日光サイクルシェア2か所

※令和4(2022)年11月時点

(6) 自家用有償旅客運送の運行状況

- 福祉有償運送は、県南地域の自治体で事業者数が県内の上位3つを占めています。また、交通空白地有償運送は県北地域が最も多く、県南地域では運行がありません。
- 矢板市では、地域住民が主体となり運行する「地域共助型生活交通」の取組事例があります。



- ※1 県内の福祉有償運送は、NPO法人等により運行されているケースが多い。市町村運営では、大田原市のみ1区域を運行。
- ※2 県内の交通空白地有償運送は、市町村により運行されているケースが多い。NPO法人等運営では、矢板市において地域住民が主体となり1路線を運行（地域共助型生活交通）。
- ※3 当該市町内で福祉有償運送事業を実施している事業者の数。

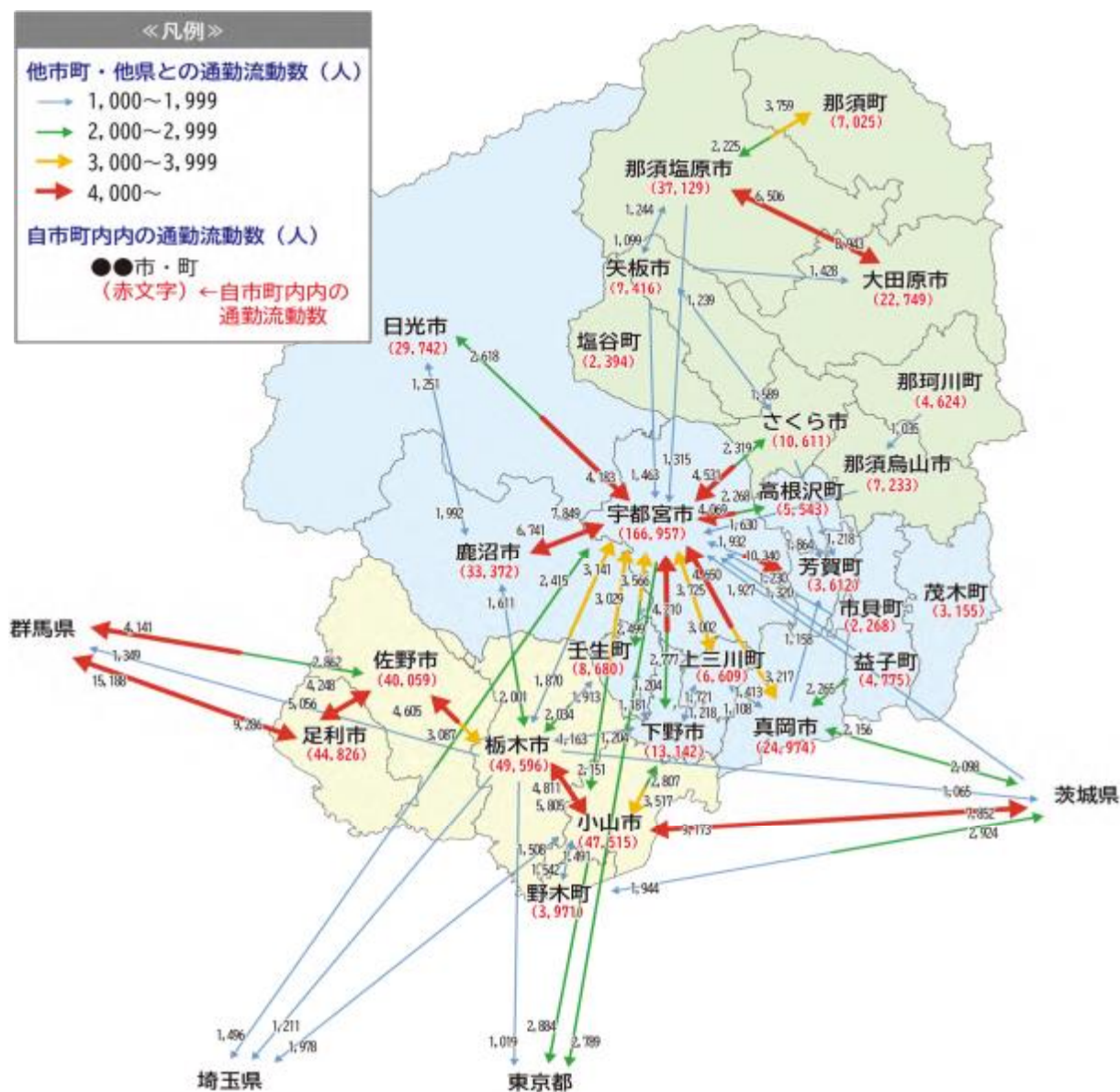
出展：栃木県 HP（福祉有償運送 登録法人一覧）

図 3-15 自家用有償旅客運送の現状

3-2 移動実態

(1) 通勤・通学流動

- 通勤・通学ともに**宇都宮市を中心とした流動**が見られ、特に、通勤での流入が目立ちます。
- 県南地域・県央地域では隣接県との流動も多く、佐野市・足利市は群馬県、小山市は茨城県との流動が目立ちます。



【参考】栃木県全体の交通分担率 → 自動車：73.3%、バス：1.5%、鉄道：3.5%、自転車：7.6%
 ※栃木県に関する全通勤流動数は906,715人（不明を除く）。
 ※他市町・他県との通勤流動数は1,000人以上を掲載（全流動の約0.1%以上を抽出）。
 ※自市町内内の流動数は全市町掲載。

出典：令和2(2020)年国勢調査

図 3-16 通勤流動



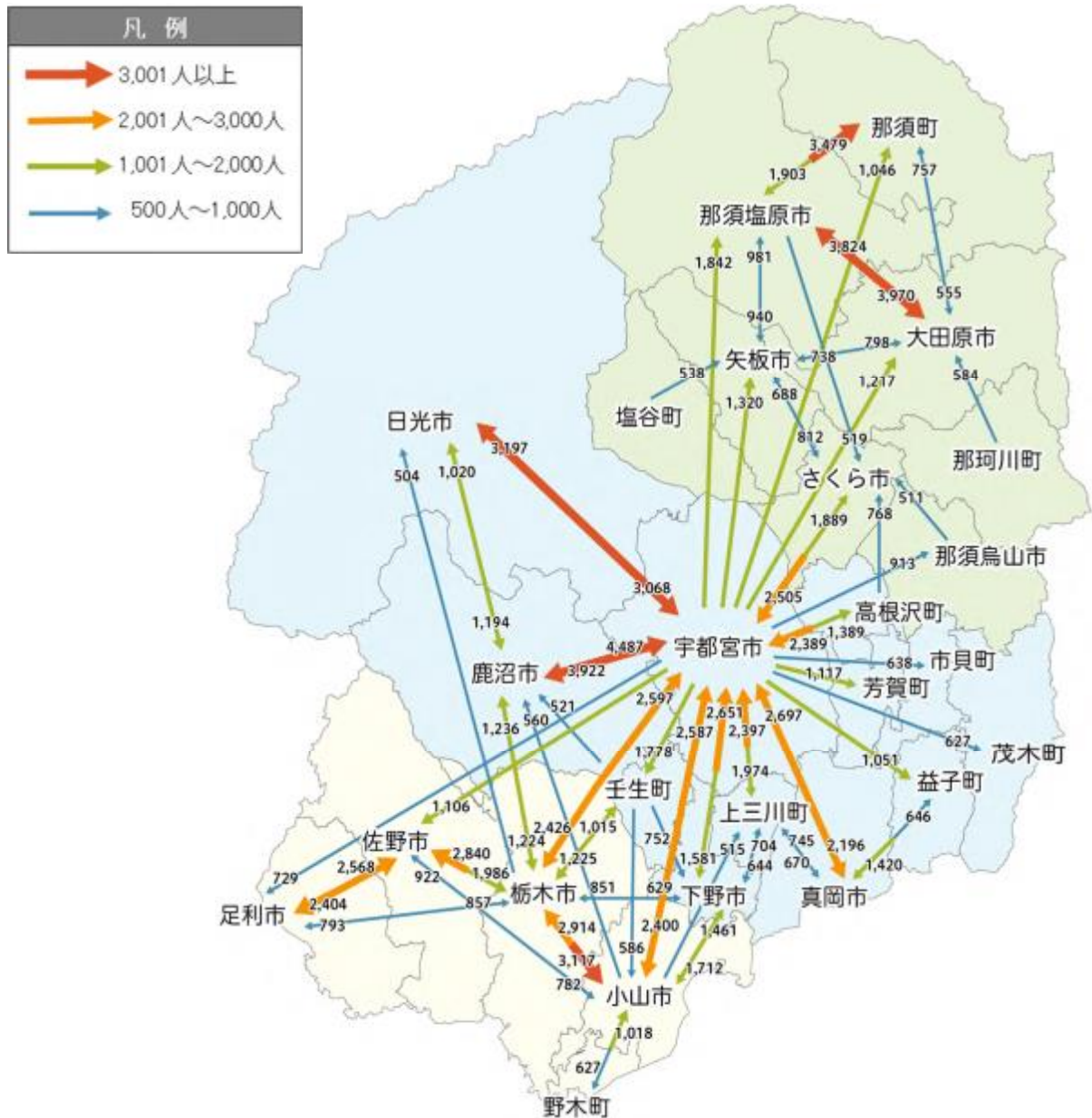
- ※ 栃木県に関する全通学流動数は 80,662 人（不明を除く）。
- ※ 他市町・他県との通勤流動数は 250 人以上を掲載（全流動の約 0.3%以上を抽出）。
- ※ 自市町内内の流動数は全市町掲載。

出典：令和2（2020）年国勢調査

図 3-17 通学流動

(2) 休日の人口流動（県内）

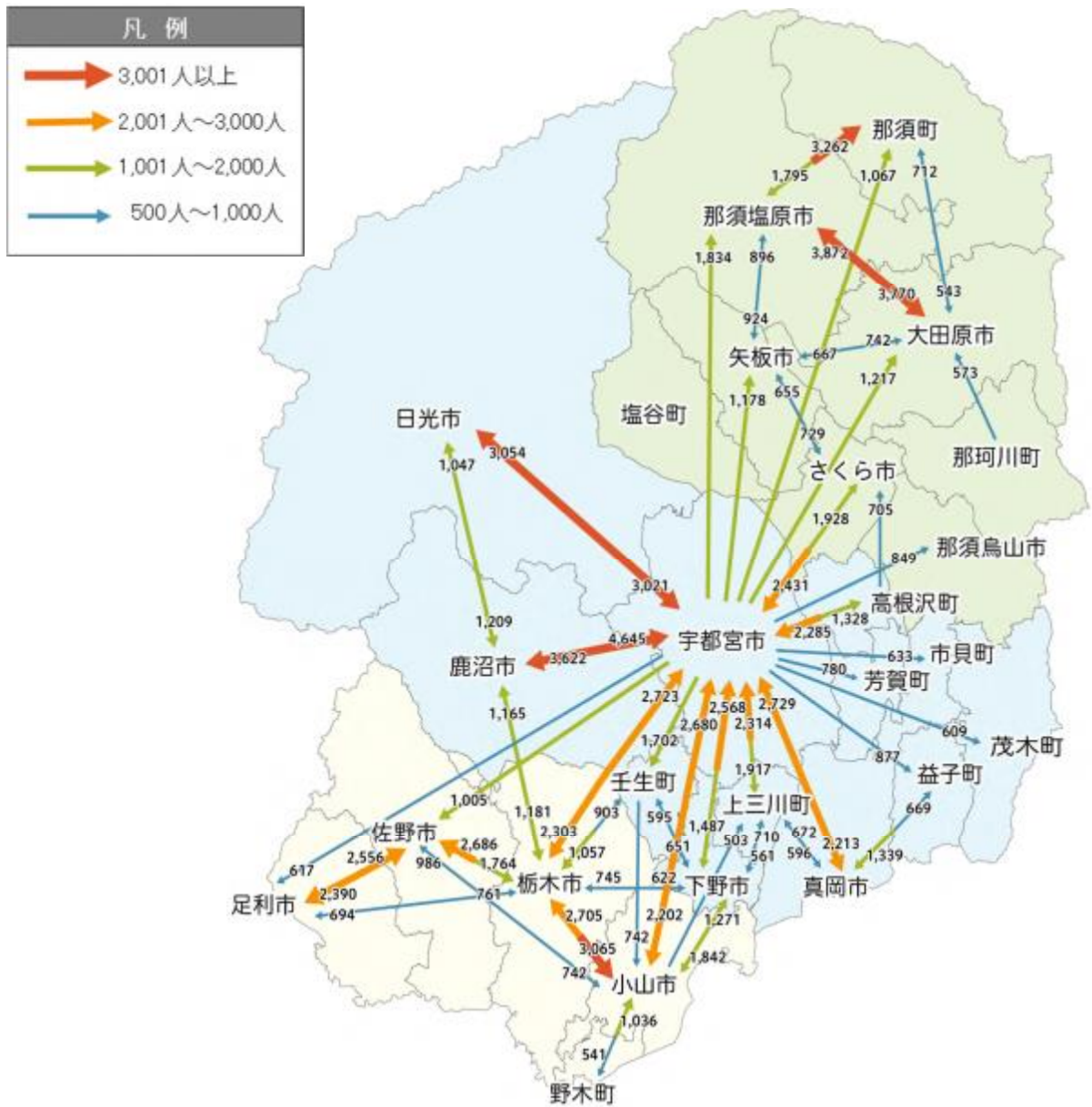
- 県北地域は、那須塩原市・大田原市・那須町、県央地域は宇都宮市・日光市・鹿沼市、県南地域は、栃木市・小山市を中心とした流動が多い。
- 宇都宮市においては、県北地域及び県南地域との流動も多い。
- コロナ禍前（令和元(2019)年）と現在（令和4(2022)年）との比較では、休日の流動に大きな違いは見られません。



※人口流動は、休日10時における他自治体の滞在人口を流動数として算出。
 ※流動数は、500人以上かつRESASで把握可能な上位9位までを掲載。

出典：RESAS（株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」）

図 3-18 【栃木県内】人口流動（令和元(2019)年5月 休日10時）



※人口流動は、休日10時における他自治体の滞在人口を流動数として算出。
 ※流動数は、500人以上かつRESASで把握可能な上位9位までを掲載。

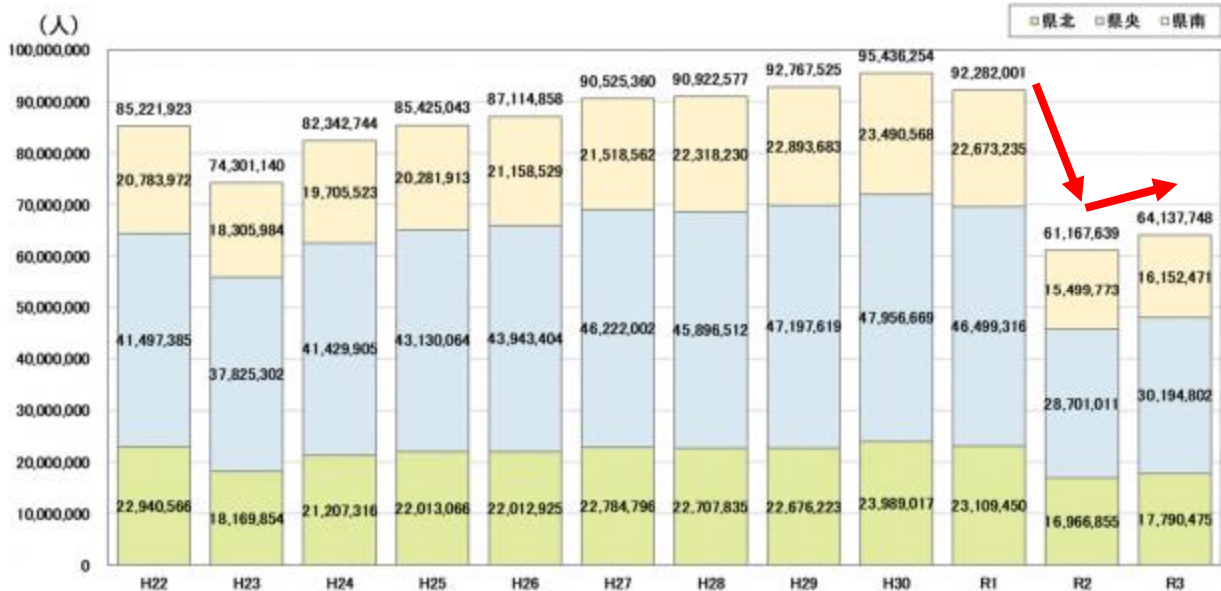
出典：RESAS（株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」）

図 3-19 【栃木県内】人口流動（令和4(2022)年5月 休日10時）

(3) 観光流動

① 観光客入込数の推移

- 東日本大震災（平成 23(2011)年）以降、インバウンド観光客の増加とともに、県内の観光客入込数は増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2(2022)年に激減しました。

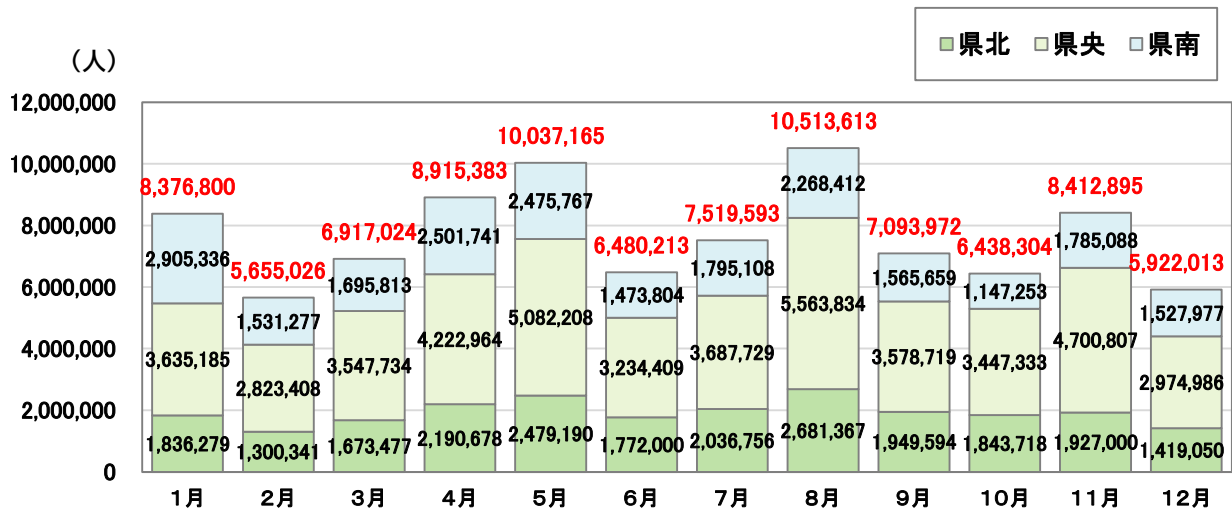


出典：栃木県産業労働観光部観光交流課「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果」

図 3-20 観光客入込数の推移

② 観光客入込数（月別）

- コロナ禍前（令和元(2019)年）の観光客入込数を月別でみると、大型連休がある4～5月、夏休み・お盆のある7～8月に多くの観光客が県内各地を訪れています。
- 佐野市においては、1月の佐野厄除け大師への参拝客が多くなっています。



出典：栃木県産業労働観光部観光交流課「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果」

図 3-21 令和元(2019)年の月別観光客入込数

表 3-3 令和元(2019)年の月別観光客入込数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
県北	大田原市	372,822	217,217	255,177	356,555	305,281	371,139	244,367	404,506	200,762	219,111	314,258	168,182
	矢野市	132,534	102,982	122,142	195,195	218,016	156,020	139,745	185,300	164,250	156,467	176,179	131,031
	那須塩原市	799,129	500,253	704,299	806,395	872,227	587,336	788,213	1,010,710	689,795	685,303	717,899	650,347
	小山市	145,566	161,687	163,702	180,062	175,155	141,406	183,506	206,933	147,657	141,208	159,810	148,825
	那須烏山市	16,296	14,176	20,820	32,573	66,032	31,629	112,267	50,887	37,209	28,006	37,450	10,276
	塩谷町	41,172	39,652	52,145	52,003	61,799	48,971	47,544	68,687	55,486	45,318	54,450	43,252
	那須町	202,422	201,629	282,784	465,503	647,208	354,791	430,581	619,451	552,965	467,970	371,716	202,189
県央	那珂川町	126,378	62,745	72,408	102,372	133,472	80,706	90,453	135,881	101,447	100,335	95,398	64,948
	宇都宮市	1,357,033	945,314	1,188,831	1,117,499	1,419,310	1,017,707	1,027,235	2,206,563	1,121,089	1,061,960	1,397,189	887,670
	鹿沼市	366,382	194,947	207,868	290,723	693,610	280,199	162,995	172,041	192,462	192,096	235,149	130,204
	日光市	678,897	671,700	764,909	821,762	1,120,079	913,319	1,019,919	1,322,249	1,100,143	1,107,966	1,511,622	781,093
	真岡市	357,648	177,962	270,588	273,167	304,672	160,250	522,083	436,410	167,434	136,133	202,158	169,136
	下野市	144,081	136,019	219,881	336,391	198,588	148,473	149,688	180,520	151,197	134,262	184,465	252,147
	上三川町	1,296	1,061	936	912	1,008	1,586	40,652	25,170	2,559	2,711	3,011	2,313
	益子町	137,987	173,169	208,026	380,711	455,587	160,943	176,921	227,364	225,064	159,619	440,351	163,958
	茂木町	221,134	181,235	274,659	300,233	269,462	187,097	225,244	378,226	249,230	268,388	299,880	201,027
	市貝町	29,148	27,352	37,277	203,432	106,500	29,861	28,733	67,272	31,692	26,715	29,358	27,229
県南	芳賀町	59,061	45,292	47,529	74,064	48,194	41,093	40,294	95,093	46,023	39,951	45,746	45,688
	壬生町	232,583	228,493	281,538	372,402	402,564	262,421	276,501	423,563	263,545	273,018	308,743	254,080
	高根沢町	49,935	40,864	44,682	51,688	62,634	31,360	17,474	24,334	28,191	24,614	43,155	60,441
	足利市	455,947	222,826	242,595	588,537	797,361	267,226	172,016	615,300	196,709	213,492	477,627	413,022
	栃木市	503,254	317,037	468,644	821,949	651,950	472,132	349,436	453,199	488,025	306,377	403,523	278,948
	佐野市	1,697,995	763,016	700,781	693,874	737,581	524,883	480,582	771,583	551,180	441,885	589,167	622,482
小山市	239,661	221,757	273,783	387,706	249,936	201,777	718,777	221,465	323,089	179,514	300,040	200,753	
野木町	8,479	6,641	10,010	9,675	38,889	7,986	74,287	6,863	6,616	5,965	14,731	12,772	

出典：栃木県産業労働観光部観光交流課「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果」

③ 県外からの流入人口

- 日中10時～14時の県外からの流入人口は、県北地域は那須町・那須塩原市、県央地域は宇都宮市・日光市、県南地域は足利市・佐野市が多くなっており、**観光地や大規模集客施設を有する市町で多い傾向**にあります。
- 夜間20時～4時の（宿泊客などの）市町外からの流入人口のうち、県外からの流入が占める割合は、那須町が最も高く、次いで日光市と、県外からの流入人口と同様に観光地や大規模集客施設を有する市町で高くなっています。
- コロナ禍においては、県外からの流入人口及び占める割合は減少しましたが、傾向はコロナ禍前と同様となっています。

表 3-4 観光シーズンにおける県外からの流入人口（令和元(2019)年5月休日）

		2019年5月休日							
		4時		10時		14時		20時	
		県外からの 流入人口 (人)	全流入人口 に占める 県外からの 割合(%)	県外からの 流入人口 (人)	全流入人口 に占める 県外からの 割合(%)	県外からの 流入人口 (人)	全流入人口 に占める 県外からの 割合(%)	県外からの 流入人口 (人)	全流入人口 に占める 県外からの 割合(%)
県北	大田原市	3,851	6.05	5,261	8.2	5,715	8.89	4,034	6.36
	矢板市	2,973	9.67	4,764	14.67	4,642	14.73	3,793	12.11
	那須塩原市	12,054	11	16,448	14.94	19,012	16.76	12,932	11.73
	さくら市	2,471	6.45	3,094	8.09	3,102	8.24	2,667	6.92
	那須烏山市	1,871	7.52	2,227	9.34	2,138	9.3	1,729	7.23
	塩谷町	1,105	10.01	1,410	13.54	1,397	13.89	988	9.51
	那須町	15,948	41.19	24,025	48.68	26,551	50.88	15,604	40.93
	那珂川町	1,503	9.34	2,055	12.98	2,154	13.93	1,450	9.4
県央	宇都宮市	25,723	5.75	33,094	7.39	37,485	8.21	28,044	6.15
	鹿沼市	3,971	4.6	7,927	8.99	7,560	8.85	3,881	4.52
	日光市	17,693	19.74	26,569	27.19	28,937	29.13	16,639	19.16
	真岡市	3,295	4.74	6,198	8.85	6,646	9.63	3,736	5.44
	下野市	2,448	4.74	3,855	7.87	4,053	8.51	2,653	5.33
	上三川町	1,398	5.19	2,477	9.11	2,521	9.29	1,787	6.74
	益子町	1,282	6.18	5,475	22.95	6.43	23.34	1,278	6.43
	茂木町	1,739	13.31	4,259	27.87	4,787	30.72	1,573	12.69
	市貝町	602	5.71	1,233	12.34	1,210	12.58	559	5.67
	芳賀町	814	5.82	1,085	7.5	1,136	8.12	858	6.29
	壬生町	1,701	4.89	2,853	8.53	3,076	9.41	1,660	5.01
	高根沢町	1,601	6.22	2,020	8.5	1,819	7.99	1,490	6.07
県南	足利市	6,970	5.24	20,500	15.18	23,864	17.69	11,614	8.72
	栃木市	7,063	4.95	15,962	11.04	16,730	11.75	8,306	5.9
	佐野市	6,606	6.21	17,475	15.41	25,225	20.81	9,811	8.98
	小山市	7,222	5.03	15,488	10.86	18,716	12.96	12,053	8.17
	野木町	1,193	5.32	2,733	13.32	2,855	14.69	1,578	7.4

出典：RESAS（株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」）

表 3-5 観光シーズンにおける県外からの流入人口（令和4（2022）年5月休日）

		2022年5月休日（コロナ禍 参考）							
		4時		10時		14時		20時	
		県外からの 流入人口 （人）	全流入人口 に占める 県外からの 割合（%）	県外からの 流入人口 （人）	全流入人口 に占める 県外からの 割合（%）	県外からの 流入人口 （人）	全流入人口 に占める 県外からの 割合（%）	県外からの 流入人口 （人）	全流入人口 に占める 県外からの 割合（%）
県北	大田原市	2,864	4.63	4,234	6.77	4,453	7.15	2,864	4.66
	矢板市	2,071	7.1	3,273	10.77	3,394	11.42	2,187	7.51
	那須塩原市	8,988	8.4	13,120	12.11	15,532	13.92	9,281	8.66
	さくら市	1,801	4.74	2,499	6.55	2,586	6.85	1,871	4.93
	那須烏山市	1,225	5.32	1,618	7.26	1,636	7.54	1,206	5.39
	塩谷町	740	7.29	1,175	11.77	1,110	11.49	784	7.92
	那須町	12,106	35.29	18,634	43.15	20,056	44.56	11,583	34.39
	那珂川町	1,032	7.05	1,635	11.29	1,612	11.41	1,095	7.65
県央	宇都宮市	20,607	4.61	28,019	6.2	32,137	6.99	22,122	4.87
	鹿沼市	2,979	3.54	6,224	7.34	5,914	7.18	2,851	3.46
	日光市	12,973	15.71	18,998	21.64	20,104	22.77	11,772	14.69
	真岡市	2,516	3.66	5,038	7.28	5,354	7.84	2,779	4.08
	下野市	1,986	3.84	3,249	6.65	3,220	6.81	2,075	4.12
	上三川町	1,324	4.9	2,222	8.13	2,263	8.31	1,522	5.74
	益子町	907	4.52	4,672	20.46	4,346	19.48	986	5.05
	茂木町	1,187	10.01	3,038	22.33	3,207	23.69	1,089	9.51
	市貝町	433	4.19	936	9.41	854	8.86	452	4.53
	芳賀町	644	4.76	912	6.69	881	6.76	619	4.72
	壬生町	1,598	4.66	2,205	6.64	2,226	6.95	1,431	4.33
	高根沢町	1,150	4.53	1,471	6.21	1,432	6.25	1,079	4.42
県南	足利市	5,167	4.01	15,527	11.99	17,582	13.67	8,861	6.84
	栃木市	5,092	3.68	13,266	9.43	14,196	10.22	5,772	4.21
	佐野市	4,927	4.76	14,465	13.13	20,567	17.68	7,258	6.88
	小山市	6,225	4.3	13,974	9.68	17,040	11.63	9,901	6.71
	野木町	955	4.29	2,268	11.24	2,402	12.34	1,224	5.71

第4章 公共交通ネットワーク図

4-1 公共交通ネットワーク図の設定 STEP

(1) 【STEP1】 広域交通結節点（9箇所）・広域交通軸

- 首都圏等、県外との連絡を主とした東北新幹線の鉄道駅及び特急列車（スペーシア、リバイティ等）が停車する駅のうち乗降客数の多い駅を「広域交通結節点」として9箇所抽出し、広域交通結節点同士をつなぐ東北新幹線を「広域交通軸」として位置付けます。

表 4-1 広域交通結節点の抽出

施設1	乗降客数	路線名
宇都宮駅	49118	東北線/日光線/東北新幹線
小山駅	29198	東北線/両毛線/東北新幹線
栃木駅	16466	日光線/両毛線
佐野駅	7688	両毛線/佐野線
東武宇都宮駅	7325	宇都宮線
野木駅	6826	東北線
石橋駅	6776	東北線
雀宮駅	6624	東北線
間々田駅	6448	東北線
那須塩原駅	6332	東北線/東北新幹線
西那須野駅	6052	東北線
小金井駅	5700	東北線
自治医大駅	5134	東北線
氏家駅	5038	東北線
足利駅	4652	両毛線
矢板駅	4416	東北線
黒磯駅	3856	東北線
岡本駅	3784	東北線
宝積寺駅	3270	東北線/烏山線
鹿沼駅	3182	日光線
足利市駅	3150	伊勢崎線
新栃木駅	3100	日光線/宇都宮線
新鹿沼駅	2520	日光線
鶴田駅	2438	日光線
野崎駅	2064	東北線

最小値	1
第一四分位数	141.25
第二四分位数(中央値)	697
第三四分位数	2057.75
最大値	49118

出典：国土数値情報

※乗降客数の多い駅 = 乗降客数2,000人/日以上
(県内の駅で乗降客数が上位25%以内にある駅)

※「佐野新都市バスターミナル」については、佐野新都市BT～東京間を平日19往復(38便)、休日23往復(46便)が運行しておりJR両毛線の1日26往復(52便)、東武特急の1日25往復(50便)と比べても遜色ない便数が運行しているかつ、佐野市地域公共交通計画では鉄道(JR、東武)及び高速バスを「幹線」と位置づけており、佐野市からの要望もあったため、広域交通結節点、広域交通軸に位置づけ

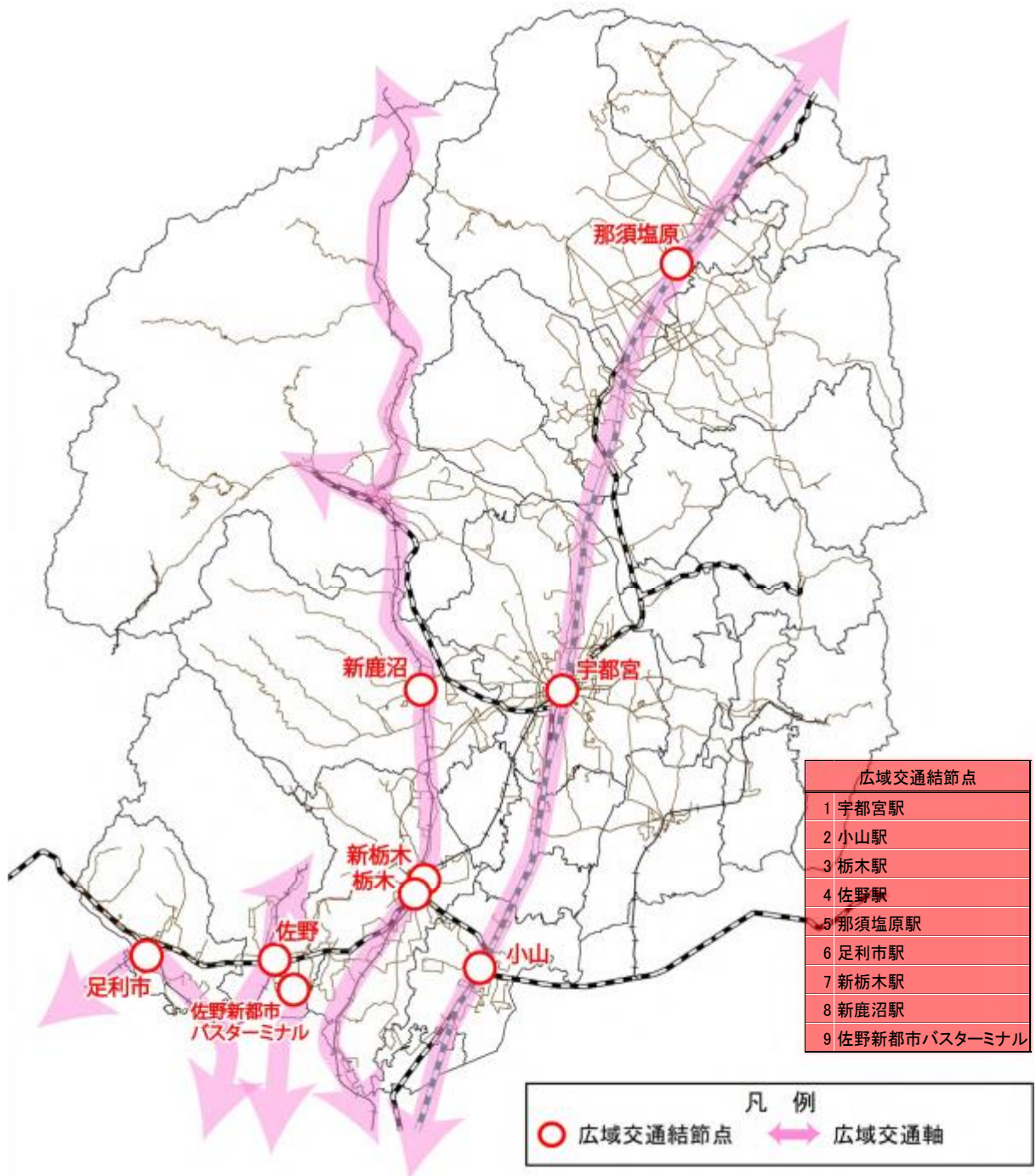


図 4-1 STEP1 時点の公共交通ネットワーク図

(2) 【STEP2】主要交通結節点（20箇所）、主要交通軸

- 広域交通結節点に準じ、県外と県内を繋ぐ結節点として、鉄道間・広域バス路線が接続する「乗降客数の多い鉄道駅【条件1】」・「特急列車の停車駅【条件2】」、または「県外・県内を繋ぐ路線で最も乗降客数が多い鉄道駅【条件3】」を「主要交通結節点」として19箇所抽出し、主要交通結節点を繋ぐ鉄道または広域バスを「主要交通軸」として位置付けます。

表 4-2 主要交通結節点の抽出

種別	駅名	乗降客数	種別	駅名	乗降客数
【条件1】 鉄道間もしくは広域バス路線が接続する、乗降客数の多い鉄道駅 (11箇所)	宇都宮駅	49118	【条件2】 鉄道間もしくは広域バス路線が接続する、特急列車の停車駅(4箇所)	下今市駅	1768
	小山駅	29198		東武日光駅	1539
	栃木駅	16466		鬼怒川温泉駅	1328
	佐野駅	7688		新高徳駅	249
	東武宇都宮駅	7325	【条件3】 条件1・2には該当しないが、県外・県内を繋ぐ路線で最も乗降客数が多い鉄道駅 (4箇所)	烏山駅 (茨城県へのバス路線)	848
	石橋駅	6776		新藤原駅 (野岩鉄道)	703
	雀宮駅	6624		真岡駅 (真岡鐵道)	614
	間々田駅	6448		間藤駅(わたらせ渓谷鐵道)	90
	那須塩原駅	6332			
	西那須野駅	6052			
	小金井駅	5700			
	足利駅	4652			
	矢板駅	4416			
	黒磯駅	3856			
	岡本駅	3784			
	宝積寺駅	3270			
鹿沼駅	3182				
足利市駅	3150				
新栃木駅	3100				
新鹿沼駅	2520				

出典：国土数値情報

※赤字：広域交通結節点

※乗降客数の多い駅＝乗降客数2,000人/日以上
(県内の駅で乗降客数が上位25%以内にある駅)

※「足利駅」については、設定ステップ通りであればSTEP3地域交通結節点となるが、乗降客数も多く(4,652人/日)足利市地域公共交通計画でも重要拠点と位置づけており、足利市からの要望もあったため、主要交通結節点に位置づけ

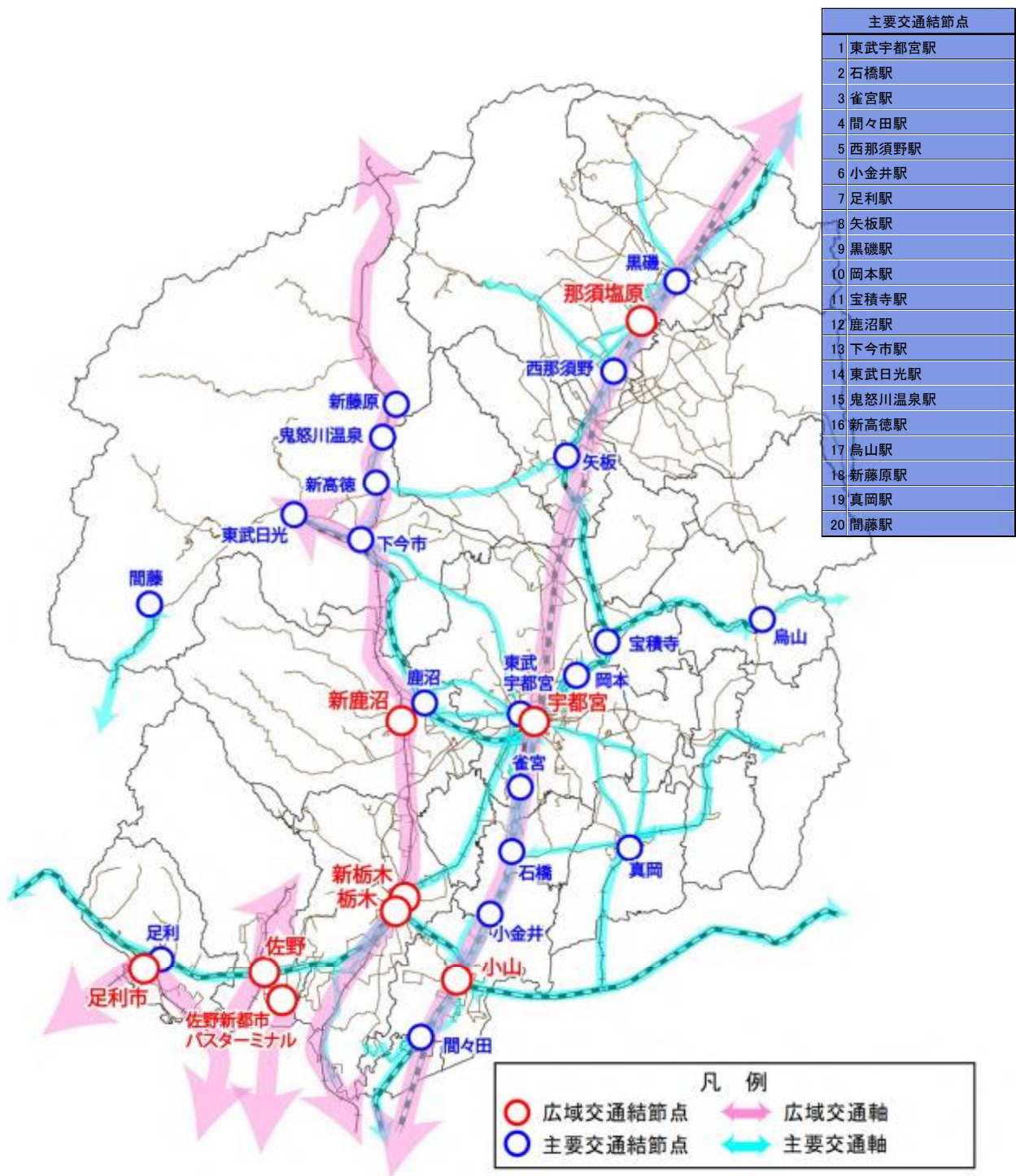


図 4-2 STEP2 時点の公共交通ネットワーク図

(3) 【STEP3】 地域交通結節点 (57 箇所) ・ 地域交通軸

- 各市町間を繋ぐ結節点として、「広域交通・主要交通結節点がない市町内で最も乗降客数の多い鉄道駅【条件1】」、「市町の地域公共交通計画や都市計画等に定める地域拠点に位置し鉄道とバス路線が接続する駅【条件2】」、「広域バス路線と市町バス路線が接続するバス停等【条件3】」を「地域交通結節点」とし 57 箇所抽出し、結節点間を繋ぐ広域バスを「地域交通軸」として位置付けます。

表 4-3 地域交通結節点の抽出(1/2)

種別	駅名	市町名	乗降客数
【条件1】 広域交通・主要交通結節点がない市町内で最も乗降客数の多い鉄道駅 (8箇所)	野木駅	野木町	6826
	氏家駅	さくら市	5038
	野崎駅	大田原市	2064
	七井駅	益子町	240
	茂木駅	茂木町	431
	市塙駅	市貝町	120
	おもちゃのまち駅	壬生町	848
	黒田原駅	那須町	696

出典：国土数値情報、ICカード分析データ

種別	駅名	接続路線	市町名	備考
【条件2】 鉄道とバス路線が接続する駅 (27箇所)	日光駅	JR日光線、日光交通、東武バス日光	日光市	市交通計画の副次拠点
	今市駅	JR日光線、関東自動車、日光市営バス	日光市	市交通計画の中心拠点
	下野大沢駅	JR日光線、日光市営バス下野大沢線	日光市	市交通計画の副次拠点
	通洞駅	わたらせ渓谷鉄道線、日光市営バス	日光市	市交通計画の地域拠点
	鶴田駅	JR日光線、関東自動車	宇都宮市	(宇都宮市の意見)
	南宇都宮駅	東武宇都宮線、関東自動車	宇都宮市	(宇都宮市の意見)
	西川田駅	東武宇都宮線、関東自動車	宇都宮市	都市マスの地域拠点
	江曾島駅	東武宇都宮線、関東自動車	宇都宮市	都市マスの地域拠点
	益子駅	真岡鐵道線、関東自動車、JRバス関東	益子町	都市マスの生活・交流拠点
	椗山駅	東武日光線、鹿沼市リーバス	鹿沼市	都市マスの地域生活拠点
	楡木駅	東武日光線、関東自動車	鹿沼市	都市マスの地域生活拠点
	思川駅	JR両毛線、小山市おーバス	小山市	都市マスの地域交通拠点
	藤岡駅	東武日光線、栃木市ふれあいバス	栃木市	都市マスの地域拠点
	岩舟駅	JR両毛線、栃木市ふれあいバス	栃木市	都市マスの地域拠点
	大平下駅	JR両毛線、栃木市ふれあいバス	栃木市	都市マスの地域拠点
	新大平下駅	東武日光線、栃木市ふれあいバス	栃木市	都市マスの地域拠点
	家中駅	東武日光線、栃木市ふれあいバス	栃木市	都市マスの地域拠点
	東武金崎駅	東武日光線、栃木市ふれあいバス	栃木市	都市マスの地域拠点
	自治医大駅	JR東北本線、関東自動車	下野市	都市マスの都市核
	田沼駅	東武佐野線、佐野市さーのって号	佐野市	市交通計画の交通結節点
	葛生駅	東武佐野線、佐野市さーのって号	佐野市	市交通計画の交通結節点
	小俣駅	JR両毛線、あしばすアッシー	足利市	市交通計画の交通結節点
	山前駅	JR両毛線、あしばすアッシー	足利市	市交通計画の交通結節点
	あしかがフラワーパーク駅	JR両毛線、あしばすアッシー	足利市	市交通計画の交通結節点
	富田駅	JR両毛線、あしばすアッシー	足利市	市交通計画の交通結節点
	野州山辺駅	東武伊勢崎線、あしばすアッシー	足利市	市交通計画の交通結節点
	福居駅	東武伊勢崎線、あしばすアッシー	足利市	市交通計画の交通結節点

表 4-4 地域交通結節点の抽出(2/2)

種別	バス停名	接続路線	市町名	備考
【条件3】 広域バス路線と 市町バス路線 が接続するバ ス停(22箇所)	那須湯本温泉	関東自動車、那須町民バス	那須町	那須定住自立圏交通計画 の観光拠点
	伊王野支所	関東自動車、那須町民バス	那須町	那須定住自立圏交通計画 の地域交通拠点
	塩原温泉バスター ミナル	JRバス関東、那須塩原市ゆーバス	那須塩原 市	那須定住自立圏交通計画 の観光拠点
	アグリパル塩原	JRバス関東、那須塩原市ゆーバス	那須塩原 市	那須定住自立圏交通計画 の地域交通拠点
	大田原市役所	関東自動車、大田原市営バス	大田原市	那須定住自立圏交通計画 の生活拠点、 市交通計画の交通拠点
	那須赤十字病院	関東自動車、大田原市営バス	大田原市	市交通計画の交通拠点
	トコトコ大田原	関東自動車、大田原市営バス	大田原市	市交通計画の交通拠点
	田町ロータリー	関東自動車、大田原市営バス	大田原市	那須定住自立圏交通計画 の地域交通拠点
	黒羽支所	関東自動車、大田原市営バス	大田原市	市交通計画の交通拠点
	黒羽郵便局前	関東自動車、大田原市営バス	大田原市	市交通計画の交通拠点
	小川仲町	関東自動車(氏家～馬頭、西那須野～ 馬頭)、コミバス馬頭烏山線	那珂川町	
	那珂川町役場	関東自動車、コミバス馬頭烏山線、那珂 川町なかちゃん号(デマンド)	那珂川町	那須定住自立圏交通計画 の生活拠点
	玉生宿	関東自動車、町バス路線	塩谷町	都市マスの生活中心拠点・ 暮らしエリア
	船生	関東自動車、町バス路線	塩谷町	都市マスの暮らしエリア
	喜連川本町	関東自動車(馬頭線、フィオーレ線)	さくら市	交通計画の「地域公共交通 NWの中心点」
	粟野小学校前	鹿沼市リーバス(口粟野線、上粕尾山の 神線、入粟野上五月線)	鹿沼市	都市マスの生活観光・交流 心
	上河内地区市民セ ンター	関東自動車、上河内地域路線バス	宇都宮市	都市マスの地域拠点
	宇都宮大学陽東 キャンパス	芳賀・宇都宮LRT、関東自動車	宇都宮市	(宇都宮市の意見)
	清原地区市民セン ター前	芳賀・宇都宮LRT、JRバス関東	宇都宮市	(宇都宮市の意見)
	橋場	関東自動車(益子方面、真岡方面)	芳賀町	都市交通MPの生活拠点
	上三川車庫前	関東自動車(上三川～駒生、石橋～真 岡)	上三川町	都市マスの中心市街地
	芳賀町工業団地管 理センター前	芳賀・宇都宮LRT、JRバス関東	芳賀町	都市交通MPの生活拠点

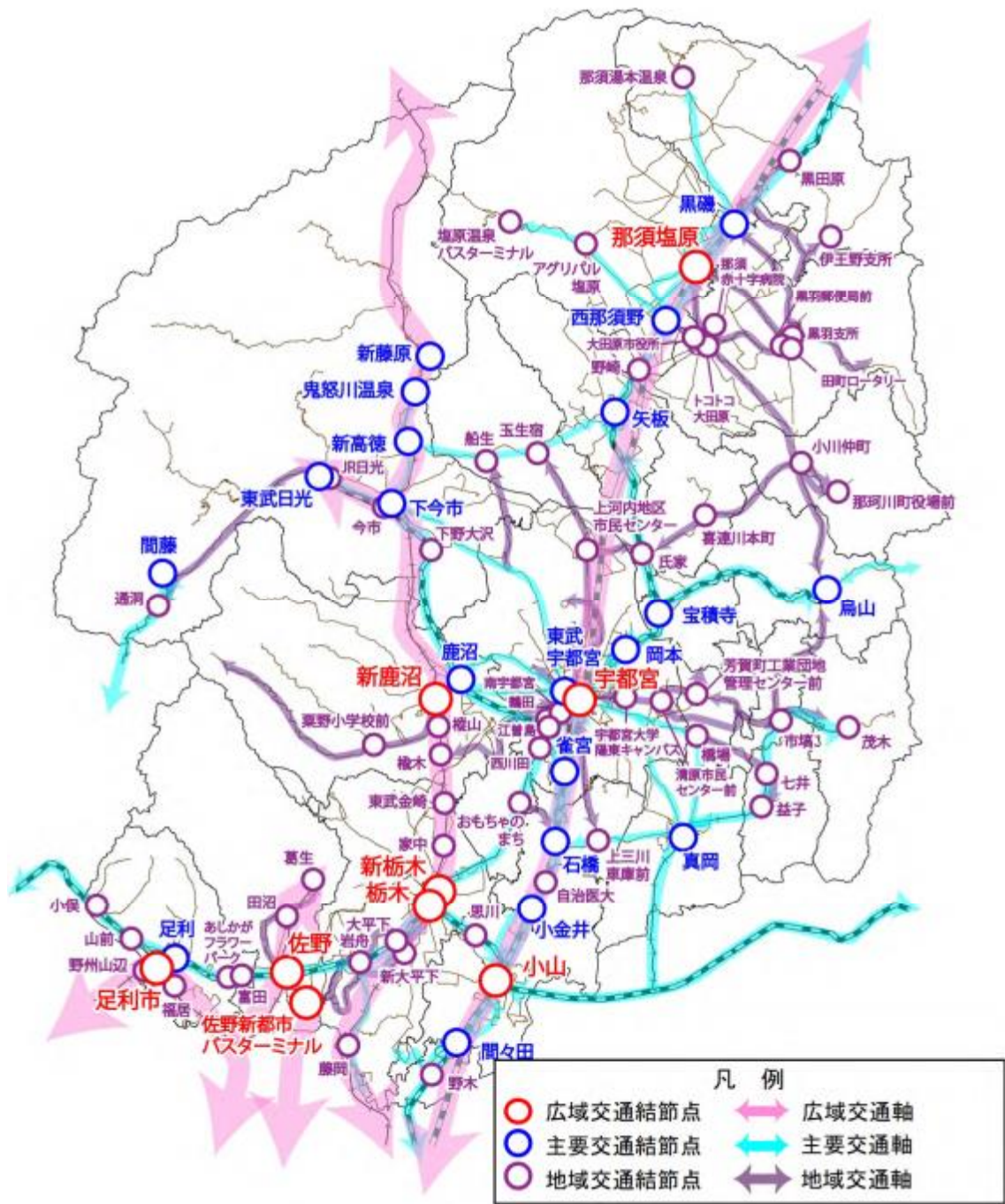


図 4-3 STEP3 時点の公共交通ネットワーク図

地域交通結節点		
1 野木駅	23 大平下駅	36 那須湯本温泉
2 氏家駅	24 新大平下駅	37 伊玉野支所
3 野崎駅	25 家中駅	38 塩原温泉バスターミナル
4 七井駅	26 東武金崎駅	39 アグリバル塩原
5 茂木駅	27 自治医大駅	40 大田原市役所
6 市塙駅	28 田沼駅	41 那須赤十字病院
7 おもちゃのまち駅	29 葛生駅	42 トコトコ大田原
8 黒田原駅	30 小俣駅	43 田町ロータリー
9 日光駅	31 山前駅	44 黒羽支所
10 今市駅	32 あしかがフラワーパーク駅	45 黒羽郵便局前
11 下野大沢駅	33 富田駅	46 小川仲町
12 通洞駅	34 野州山辺駅	47 那珂川町役場
13 鶴田駅	35 福居駅	48 玉生宿
14 南宇都宮駅		49 船生
15 西川田駅		50 喜連川本町
16 江曾島駅		51 粟野小学校前
17 益子駅		52 上河内地区市民センター
18 縦山駅		53 宇都宮大学陽東キャンパス
19 楡木駅		54 清原地区市民センター
20 恩川駅		55 橋場
21 藤岡駅		56 上三川車庫前
22 岩舟駅		57 芳賀工業団地管理センター前

(4) 【STEP4】生活拠点・目的地

① 観光施設（45箇所）

- 市町をまたいだ利用が想定される観光施設を「生活拠点・目的地」として、計 45 箇所抽出しました。

表 4-5 観光施設の抽出

種別	観光施設	観光入込客数	種別	観光施設	観光入込客数
日帰り公営温泉・入浴施設	地域交流館ほたるの里梵天の湯	38 万人/年	大規模公園・複合公園	織姫公園	93 万人/年
	真岡井頭温泉	34 万人/年		とちぎわんぱく公園	82 万人/年
	ろまんちっく村 ろまんちっく温泉館	29 万人/年		井頭公園	73 万人/年
	喜連川温泉第1温泉浴場「もとゆ」	19 万人/年		みかも山公園	52 万人/年
	城の湯温泉センター	18 万人/年		日光だいや川公園	43 万人/年
	道の駅はが「ロマンの湯」	16 万人/年		那須野が原公園	26 万人/年
	日光和の代温泉「やしおの湯」	16 万人/年		鬼怒グリーンパーク	25 万人/年
	黒羽温泉「五峰の湯」	13 万人/年		宇都宮市森林公園	23 万人/年
	日光市温泉保養センター「かたくりの湯」	12 万人/年		渡良瀬遊水地	20 万人/年
	まほろばの湯「湯親館」	10 万人/年		日光田母沢 御用邸公園	11 万人/年
	板室健康の'ゆ' グリーングリーン	9 万人/年	黒羽城址公園	10 万人/年	
	喜連川温泉第2温泉浴場「露天風呂」	8 万人/年	社寺・史跡寺	二社一寺	299 万人/年
	市貝温泉健康保養センター「ゆったりランド市貝」	8 万人/年		佐野厄よけ大師	125 万人/年
	かんぼの宿 栃木喜連川温泉	8 万人/年		大谷寺・大谷資料館・平和観音	76 万人/年
	前日光 つつじの湯交流館	7 万人/年		ばん阿寺	41 万人/年
	塩原温泉「湯っ歩の里」	4 万人/年		史跡足利学校	15 万人/年
道の駅きつれがわ	76 万人/年	鷲子山上神社		12 万人/年	
動植物園・寺	あしかがフラワーパーク	150 万人/年		行道山浄因寺	7 万人/年
	とちぎ花センター	31 万人/年		足利織姫神社	49 万人/年
	なかがわ水遊園	29 万人/年		龍門ふるさと民芸館	11 万人/年
	いちごの里	11 万人/年		山あげ会館	6 万人/年
	宇都宮動物園	万人/年	旧篠原家住宅	万人/年	
			羽黒山神社	万人/年	

※新型コロナウイルス流行の影響を受けない令和元（2019）年の数値を用いた

※観光交流課が市町からの報告に基づき、観光を目的とした入込数が年間1,000人以上ある施設で、栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の対象施設とした（道の駅の主なターゲットはドライバーのため、対象施設から除外）

出典：令和2（2020）年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果（P25～）



図 4-4 STEP4 時点の公共交通ネットワーク図

② 大規模商業施設 (58 箇所)

- 市町をまたいだ利用が想定される大規模商業施設を「目的地」として、計 58 箇所抽出しました。

表 4-6 大規模商業施設の抽出

施設名	住所1	店面積	業態
FKDショッピングモール宇都宮インターパーク店	宇都宮市	69582	ショッピングセンター
ベルモールショッピングセンター (イトーヨーカドー宇都宮店)	宇都宮市	47996	ショッピングセンター
福田屋ショッピングプラザ宇都宮店	宇都宮市	39180	百貨店
おやまゆうえんハーヴェストウォーク	小山市	37120	ショッピングセンター
宇都宮東武ビル (東武宇都宮百貨店本店)	宇都宮市	35749	百貨店
佐野プレミアム・アウトレット	佐野市	34262	寄合百貨店
イオンモール佐野新都市(イオン佐野新都市店)	佐野市	33882	ショッピングセンター
ROBLE (ロブレ)・VAL	小山市	30752	ショッピングセンター
イオンモール小山 (イオン小山店)	小山市	28816	ショッピングセンター
アシコタウンあしかが	足利市	27735	ショッピングセンター
アビタ宇都宮店	宇都宮市	27089	ショッピングセンター
那須ガーデンアウトレット	那須塩原市	26262	寄合百貨店
宇都宮西口ビル (トナリエ宇都宮)	宇都宮市	25898	ショッピングセンター
イオンシティ栃木ショッピングセンター(イオン栃木店)	栃木市	22149	ショッピングセンター
足利地域主導型ショッピングセンター・足利コムファースト(アビタ足利店)	足利市	21138	総合スーパー
日光今市ショッピングセンター (イオン今市店)	日光市	20832	ショッピングセンター
斎藤会館 (MEGAドン・キホーテラパーク宇都宮店)	宇都宮市	19689	総合スーパー
イオンタウン真岡(ザ・ビッグエクストラ真岡店)	真岡市	19614	ショッピングセンター
イオンタウン那須塩原 (ザ・ビッグエクストラ那須塩原店)	那須塩原市	18024	総合スーパー
イオンタウンさくら (ザ・ビッグエクストラさくら店)	さくら市	16213	ショッピングセンター
カインズモール大平(カインズ大平店)	栃木市	14721	ホームセンター
ベイシア矢板店	矢板市	12854	総合スーパー
ショッピングモール大田原(東武宇都宮百貨店大田原店)	大田原市	12248	百貨店
イオンタウン那須 (ザ・ビッグ那須店)	那須町	10860	総合スーパー
ビバホーム鹿沼店	鹿沼市	10785	ホームセンター
宇都宮ステーションビル・パセオ	宇都宮市	10724	寄合百貨店
スーパーセンタートライアル宇都宮店	宇都宮市	9686	総合スーパー
エイトタウン那須塩原 (ダイユーエイト那須塩原店)	那須塩原市	9470	ホームセンター
ベイシア今市モール店	日光市	9218	総合スーパー
小山駅ビルVAL	小山市	8734	寄合百貨店
黒磯ショッピングプラザ (MEGAドン・キホーテ黒磯店)	那須塩原市	8612	総合スーパー
ベイシアスーパーセンターさくら氏家店	さくら市	7810	総合スーパー
鹿沼リバーサイドモール (福田屋鹿沼店)	鹿沼市	7728	百貨店
ベイシア那須塩原店	那須塩原市	7269	総合スーパー
ベイシア益子店	益子町	7053	総合スーパー
スーパーセンタートライアル大田原店	大田原市	7,012	総合スーパー
ベイシア大田原店	大田原市	6842	総合スーパー
スーパーセンタートライアル小山店,サンキ小山喜沢店	小山市	6832	総合スーパー
カインズ矢板店	矢板市	6275	ホームセンター
ベイシア真岡店	真岡市	4942	総合スーパー
ベイシアスーパーマーケット小山店	小山市	4921	総合スーパー
スーパーセンタートライアル間々田店	小山市	4148	総合スーパー
ドン・キホーテ大田原店	大田原市	4,141	総合スーパー
ケーヨーデイツー上三川店,カスミフードマーケット上三川店	上三川町	4077	ホームセンター
ベイシア宇都宮陽東店	宇都宮市	3230	総合スーパー
宇都宮テクノポリス	宇都宮市	1770000	ショッピングセンター
カンセキ西川田店	宇都宮市	3875	ホームセンター
宇都宮スーパーモール	宇都宮市	11800	ホームセンター
カンセキ駅東店	宇都宮市	4946	ホームセンター
山新宇都宮店	宇都宮市	6357	ホームセンター
ケーヨーデイツー陽東店,スーパースポーツゼビオ宇都宮石井店	宇都宮市	4342	ホームセンター
宇都宮テラス	宇都宮市	37400	百貨店
スーパービバホーム足利堀込店	足利市	26068	ホームセンター
カインズ足利店	足利市	5700	ホームセンター
スーパーセンタートライアル足利店	足利市	6600	ホームセンター
ベイシア鳥山店	鳥山市	8010	総合スーパー
コストコ壬生店	壬生町	10504	総合スーパー
カインズ壬生店	壬生町	7841	ホームセンター

※店舗面積3,000㎡(都市計画区域(非線引き・準都計)における開発許可制度の適用条件)以上かつ下記種別(ショッピングセンター、百貨店、総合スーパー、ホームセンター)に分類される大型小売店舗を対象とした

出典: 全国大型小売店総覧 2022年版

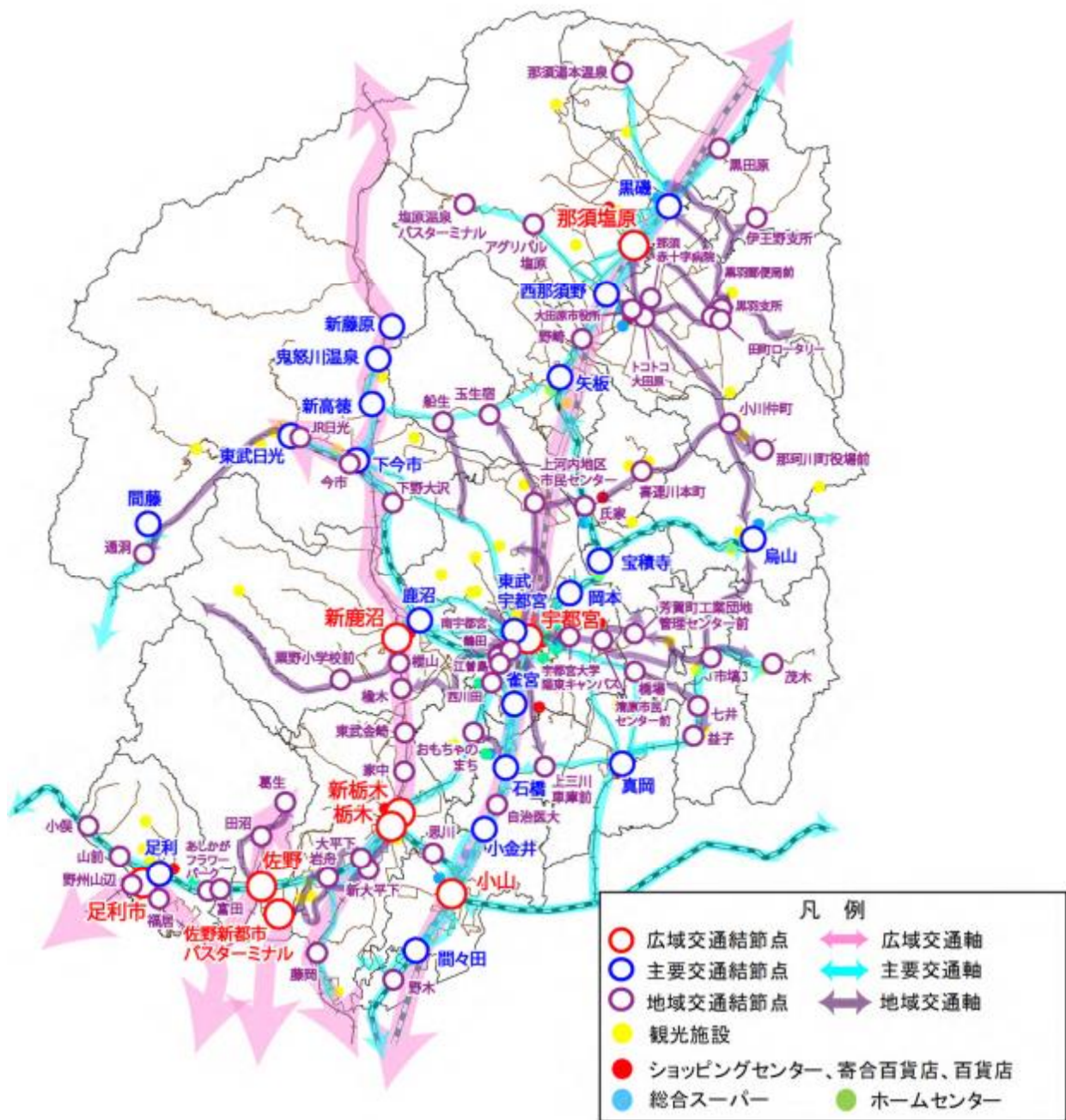


図 4-5 STEP4 時点の公共交通ネットワーク図

③ 大規模医療施設（28 箇所）

- 市町をまたいだ利用が想定される大規模医療施設を「目的地」として、計 28 箇所抽出しました。

表 4-7 大規模医療施設の抽出

地域	病院名	三次救急	二次救急
県北	那須赤十字病院	○	○
	菅間記念病院		○
	那須中央病院		○
	国際医療福祉大学病院		○
	国際医療福祉大学塩谷病院		○
	黒須病院		○
	那須南病院		○
県央	独立行政法人国立病院機構(NHO) 栃木医療センター	○	
	独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)うつのみや病院	○	
	宇都宮記念病院	○	
	独立行政法人国立病院機構(NHO) 宇都宮病院	○	
	上都賀総合病院		○
	御殿山病院		○
	今市病院		○
	獨協医科大学日光医療センター		○
	日光市民病院		○
	芳賀赤十字病院		○
	石橋総合病院		○
	小金井中央病院		○
	済生会宇都宮病院	○	
獨協医科大学病院	○	○	
自治医科大学附属病院	○	○	
県南	足利赤十字病院	○	○
	西方病院		○
	とちぎメディカルセンターしもつが		○
	新小山市市民病院		○
	光南病院		○
	佐野厚生総合病院		○

出典：栃木県ホームページ（救命救急センター一覧、二次救急一覧）

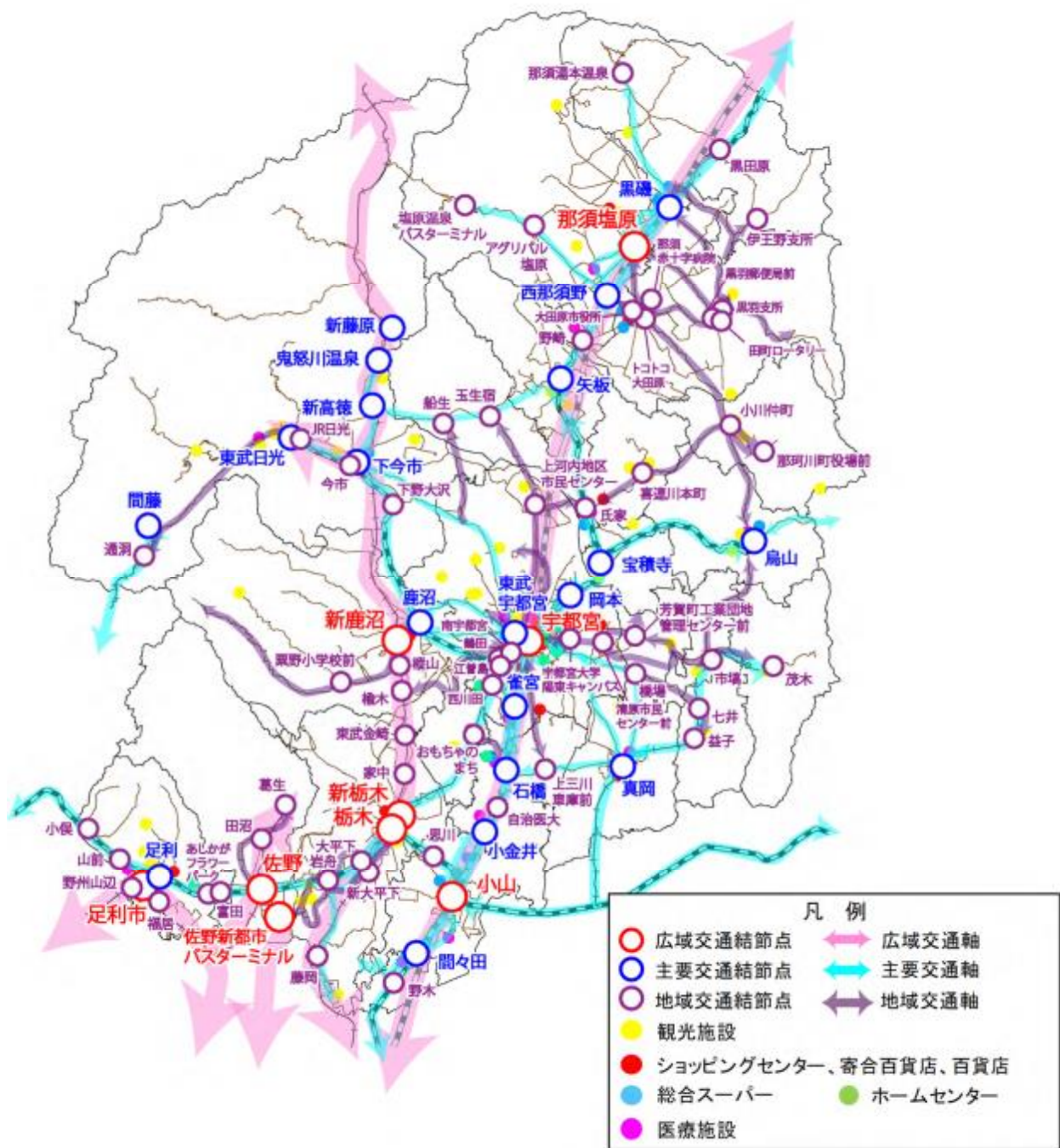


図 4-6 STEP4 時点の公共交通ネットワーク図

④ 教育施設 (95 箇所)

- 市町をまたいだ利用が想定される教育施設を「目的地」として、計 95 箇所抽出しました。

表 4-8 教育施設の抽出

地域	市町	中等教育 学校	高等学校	大学	短期大学	高等専門 学校
県北	大田原市	-	4	1	-	-
	矢板市	-	3	-	-	-
	那須塩原市	-	4	-	-	-
	さくら市	-	1	-	-	-
	那須烏山市	-	1	-	-	-
	塩谷町	-	1	-	-	-
	那須町	-	2	-	-	-
	那珂川町	-	1	-	-	-
県央	宇都宮市	-	15	6	3	-
	鹿沼市	-	4	-	-	-
	日光市	-	3	-	-	-
	真岡市	-	4	-	-	-
	下野市	-	1	1	-	-
	上三川町	-	1	-	-	-
	益子町	-	1	-	-	-
	茂木町	-	1	-	-	-
	市貝町	-	-	-	-	-
	芳賀町	-	-	-	-	-
	壬生町	-	1	1	-	-
	高根沢町	-	1	-	-	-
県南	足利市	-	8	1	1	-
	栃木市	-	8	-	1	-
	佐野市	1	6	-	1	-
	小山市	-	5	2	-	1
	野木町	-	-	-	-	-
計		1	76	11	6	1

※学校教育法第1条で位置付けられる学校のうち、市町を跨いだ利用が想定される高等学校、中等教育学校、大学、短期大学、高等専門学校を対象とする。

※学校教育法第82条の2(専修学校)、第83条(各種学校)などは、「法律に定める学校」以外の教育施設となる。

出典:国土数値情報 学校(令和3年)

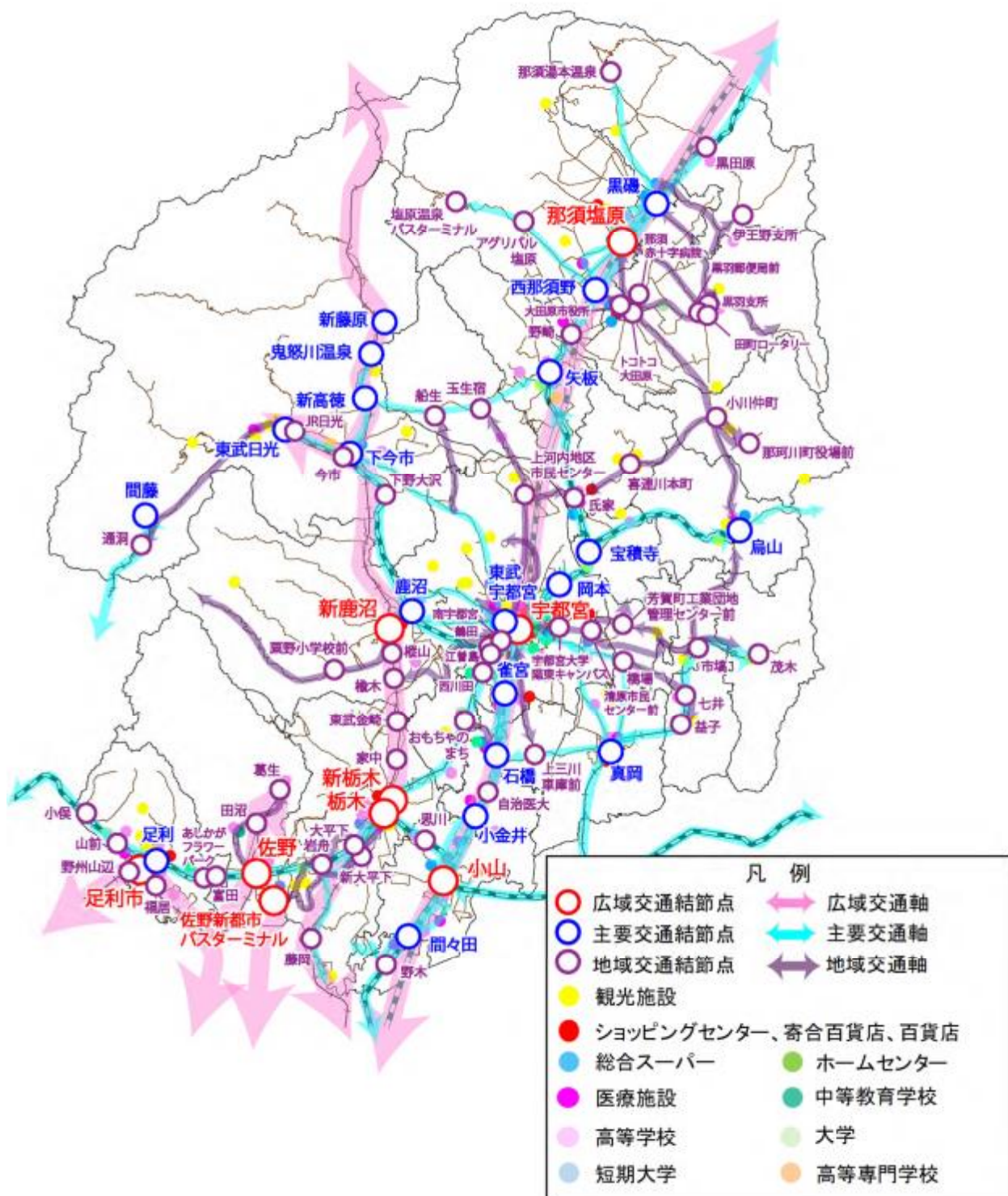


図 4-7 STEP4 時点の公共交通ネットワーク図

⑤ 準結節点、準生活拠点・目的地（22箇所）、生活交通軸

- 上記以外で、広域幹線を維持する上で必要な、鉄道駅やバス停の結節点を「準結節点」（計画等に掲載のないもの）、観光施設・大規模商業施設・大規模医療施設・教育施設として設定していないが目的地として認められる「準生活拠点・目的地」を設定し、「生活交通軸」を位置付けます。

表 4-9 準結節点の抽出

鉄道駅・バス停	路線	市町名
上三依塩原温泉口駅	野岩鉄道、那須塩原市ゆーバス	日光市
川治湯元駅	野岩鉄道、日光交通	日光市
石那田	関東自動車(日光方面、船生方面)	宇都宮市
小山西高校前	栃木市ふれあいバス、小山市おーバス	小山市
ラムサール渡良瀬遊水地	栃木市ふれあいバス、小山市おーバス(渡良瀬ライン)	栃木市

表 4-10 準生活拠点・目的地の抽出

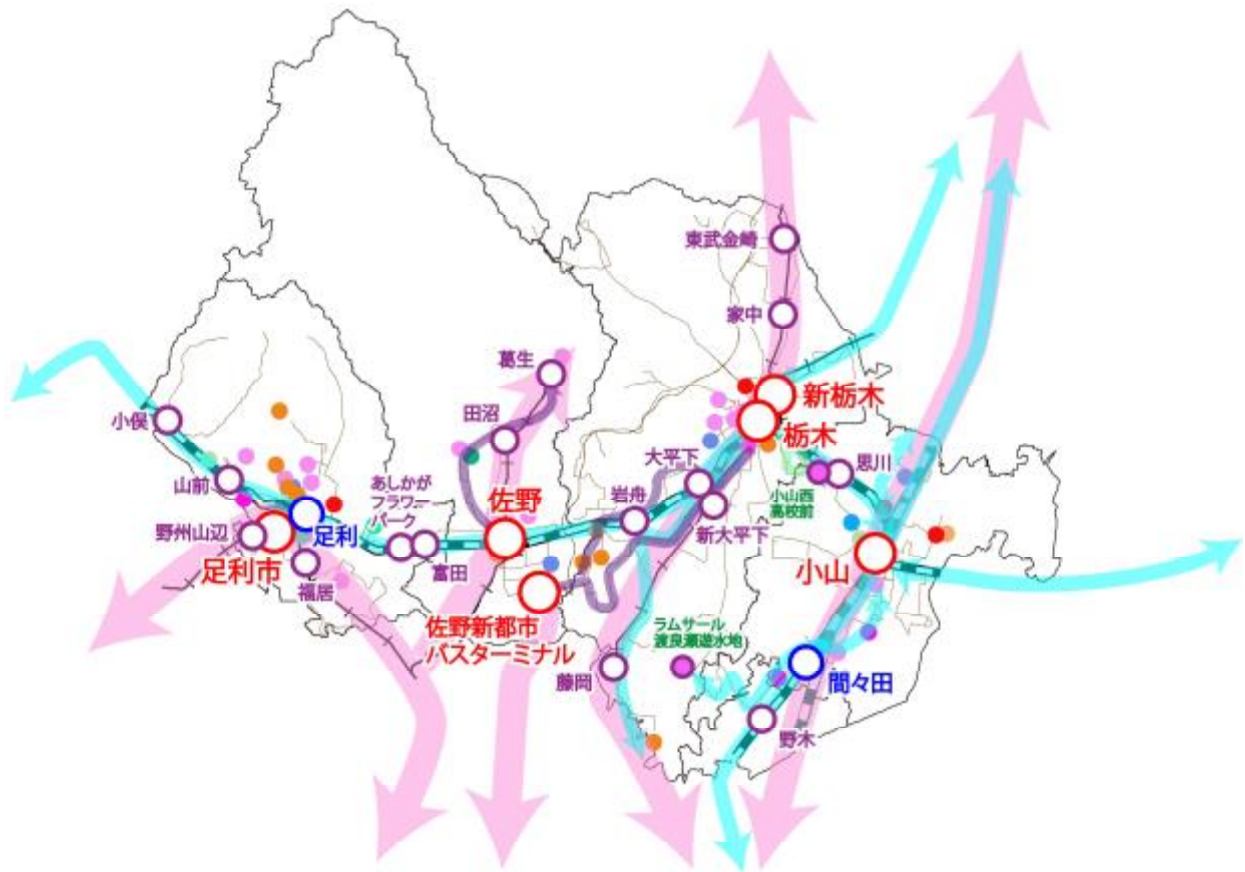
鉄道駅・バス停	路線	市町名
五峰の湯	関東自動車	大田原市
雲巖寺前	大田原市営バス	大田原市
湯津上支所	大田原市営バス	大田原市
馬頭車庫	関東自動車	那珂川町
イオン今市	日光交通	日光市
栗山行政センター	日光市営バス	日光市
女夫淵	日光市営バス	日光市
小来川森崎	鹿沼市リーバス	日光市
山の神	鹿沼市リーバス	鹿沼市
宇都宮グリーンタウン	関東自動車	宇都宮市
白沢河原	関東自動車	宇都宮市
和久	関東自動車	宇都宮市
駒生	関東自動車	宇都宮市
本郷台西汗	関東自動車	上三川町
東汗	関東自動車	上三川町
芳賀・高根沢工業団地	芳賀・宇都宮LRT	芳賀町
真岡営業所	関東自動車	真岡市

(2) 県北地域



凡 例					
○ (赤)	広域交通結節点	● (赤)	ショッピングセンター、寄合百貨店、百貨店	○ (黄)	高等専門学校
○ (青)	主要交通結節点	● (青)	総合スーパー	◀▶ (紫)	広域交通軸
○ (紫)	地域交通結節点	● (紫)	高等学校	◀▶ (青)	主要交通軸
○ (黄)	準結節点	● (黄)	ホームセンター	◀▶ (紫)	地域交通軸
○ (青)	準生活拠点・目的地	● (黄)	観光施設	◀▶ (黄)	生活交通軸
		● (青)	医療施設		
		● (青)	中等教育学校		
		● (青)	大学		
		● (青)	短期大学		

(3) 県南地域



凡 例			
○ 広域交通結节点	● ショッピングセンター、寄合百貨店、百貨店	● 高等専門学校	⇄ 広域交通軸
○ 主要交通結节点	● 総合スーパー	● 高等学校	⇄ 主要交通軸
○ 地域交通結节点	● ホームセンター	● 中等教育学校	⇄ 地域交通軸
○ 準結节点	● 観光施設	● 大学	⇄ 生活交通軸
○ 準生活拠点・目的地	● 医療施設	● 短期大学	

第5章 目標値の設定

5-1 目標値の算出根拠

(1) 鉄道・バス等の利用者数

- 「鉄道・バス等の利用者数」は、「とちぎ未来創造プラン」にも目標値として位置づけられているため、とちぎ未来創造プランと整合を図ります。そのため、現況値は平成30年度の「23.6万人/日」とします。
- 新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴い回復傾向にある直近（令和4年度）の公共交通の利用状況（コロナからの回復率）を考慮するとともに、令和5年度以降は、芳賀・宇都宮LRTの開業（令和5年8月）による利用者数の増加（10,000人/日）を加味し、「24.6万人/日」を目標値とします。

表 5-1 鉄道・バス等の利用者数

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6以降
目標値	23.6万人/日	23.6万人/日以上				18.3万人/日	21.9万人/日	24.6万人/日
実績値合計	23.6万人/日	23.6万人/日	22.8万人/日	15.7万人/日	16.9万人/日	—	—	—
内訳(鉄道)	18.0万人/日	17.9万人/日	17.6万人/日	12.3万人/日	13.3万人/日	14.4万人	16.2万人/日	18.0万人/日
内訳(バス)	5.6万人/日	5.5万人/日	5.2万人/日	3.4万人/日	3.6万人/日	3.9万人	4.8万人/日	5.6万人/日
内訳(LRT)	—	—	—	—	—	—	0.9万人/日	1.0万人/日

(2) 民間バス及び市町バス（デマンド除く）の1便あたり平均乗車密度

- 「民間バス及び市町バス（デマンド除く）の1便あたり平均乗車密度」は、「とちぎの公共交通」において毎年モニタリングしていることから、平成27年度～令和3年度の実績値を基にした近似曲線より将来値を算出しました。
- 平成27年度～令和3年度の実績値は微増傾向にあったことから、各種施策の実施により現状の微増傾向を維持することとして、現況値（4.1人）に対して「5.1人」を目標値としました。

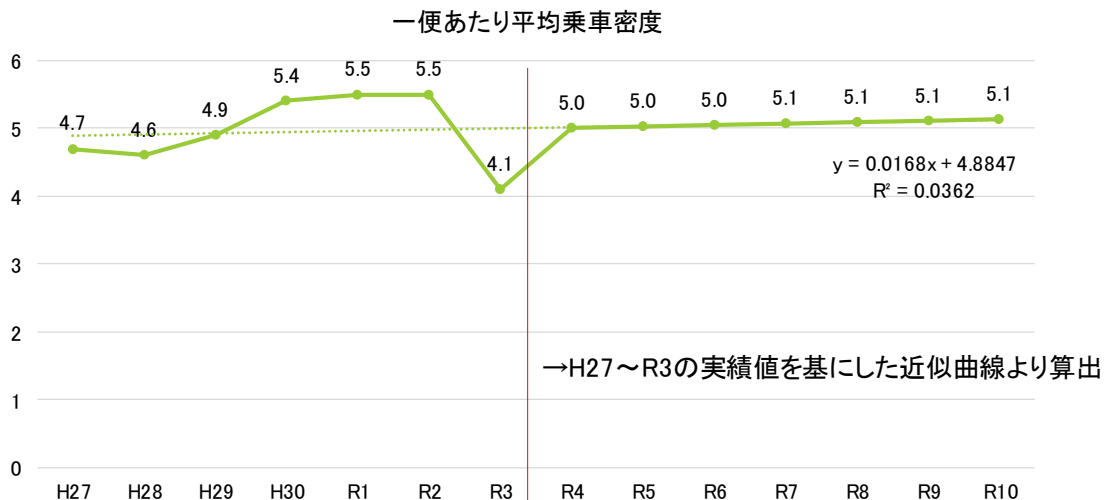


図 5-1 民間バス及び市町バス（デマンド除く）の1便あたり平均乗車密度

(3) 公共交通に関する満足度

- 「公共交通に関する満足度」は、「令和4(2022)年度とちぎネットアンケート」を基に現況値を算出し、今後は「県政世論調査」においてモニタリングしていく予定であることから、「現況値(60%)以上」を目標値としました。

項目	内容
調査目的	バス運転手の高齢化や不足等によって、地域住民や観光客の移動需要に応じた公共交通の確保・充実が困難となっている中で県民の公共交通に関するニーズなどを把握するため調査を実施します。
調査対象者	954名
調査期間	令和4(2022)年11月1日～11月14日
調査方法	電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答
回答数	424名(回答率44.4%)

問3(問1で選択肢1、2、3を選んだ方にお聞きします。)あなたは公共交通機関のサービスや運行状況について満足していますか。

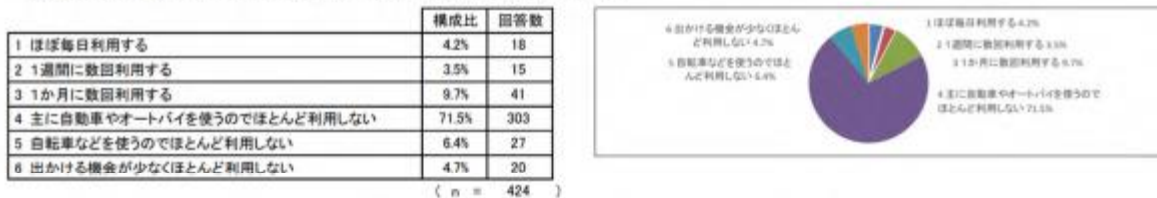


図 5-2 公共交通に関する満足度

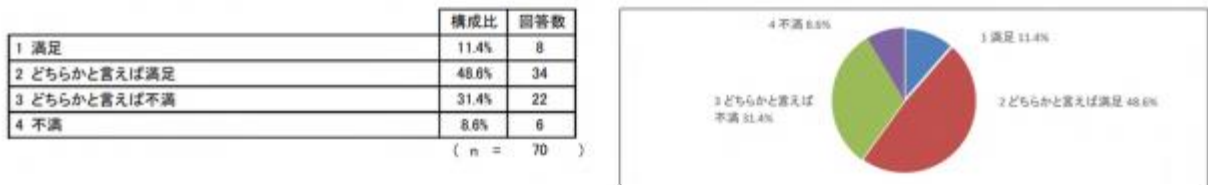
4 調査結果

問1 あなたは、鉄道やバスなどの公共交通機関をどれくらい利用していますか。

※公共交通機関とは、鉄道やバスだけでなく、コミュニティバスやデマンド交通なども含みます。



問3(問1で選択肢1、2、3を選んだ方にお聞きします。)あなたは公共交通機関のサービスや運行状況について満足していますか。



$$n = \frac{N}{\left[\frac{E}{k} \right]^2 \times \frac{N-1}{P(100-P)} + 1}$$

N: 母集団(栃木県人口190.7万人 R4 11月)
 E: 許容できる誤差: 3.65%(回答結果における±誤差)
 P: 回答比率(17.5%)⇒公共交通の利用率(問1)
 k: 信頼度係数(1.96)(95%信頼区間に母平均が含まれる割合)

N=415.34(必要サンプル数)

※参考: 総務省統計局(https://www.stat.go.jp/naruhodo/15_episode/toukeigaku/taishosha.html)

図 5-3 (参考) アンケート調査の必要サンプル数

(4) 主要観光地の最寄り鉄道駅・バス停における乗降客数

- 主要観光地は、栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の対象施設（日帰り公営温泉・入浴施設、自然・動植物園等、大規模公園・複合公園、社寺・史跡等）のうち、県央地域、県北地域、県南地域で最も観光客の多い「二社一寺」「なかがわ水遊園」「織姫神社」を調査対象とします。なお、県南地域で最も観光客数が多いのは「あしかがフラワーパーク」ですが、最寄り鉄道駅の乗降客数に関するデータが未整備のため、次点の「織姫神社」を対象としました。
- 「主要観光地の最寄り鉄道駅・バス停における乗降客数」は、「事業者提供データ」を基に現況値を算出し、今後は「とちぎの公共交通」においてモニタリングしていく予定であることから、「2.6万人/日」を目標値としました。

表 5-2 主要観光地の最寄り鉄道駅における乗降客数

観光施設	観光客入込数(R1)	最寄り鉄道駅	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
二社一寺	299万人/年	日光駅	1630人/日	1702人/日	1744人/日	1858人/日	2100人/日	2048人/日	2204人/日	2204人/日	950人/日	1176人/日
		東武日光駅	3056人/日	2993人/日	3105人/日	3353人/日	3218人/日	3726人/日	3496人/日	3014人/日	1539人/日	1834人/日
なかがわ水遊園	29万人/年	西那須野駅	7242人/日	7374人/日	7122人/日	7330人/日	7374人/日	7554人/日	7554人/日	7554人/日	6052人/日	6290人/日
織姫神社	93万人/年	足利駅	6610人/日	6746人/日	6942人/日	6732人/日	6772人/日	6690人/日	6628人/日	6628人/日	4652人/日	5230人/日
		足利市駅	6810人/日	6968人/日	6785人/日	6643人/日	6384人/日	6330人/日	6221人/日	6010人/日	3150人/日	3692人/日
合計			25348人/日	25783人/日	25698人/日	25916人/日	25848人/日	26348人/日	26103人/日	25410人/日	16343人/日	18222人/日

表 5-3 主要観光地の最寄りバス停における乗降客数

観光施設	観光客入込数(R1)	最寄りバス停	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
二社一寺	299万人/年	表参道(東武バス日光)	-	-	-	-	-	-	201人/日	252人/日	107人/日	176人/日
なかがわ水遊園	29万人/年	田宿(関東バス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
織姫神社	93万人/年	通5丁目(足利市)	-	-	-	-	-	10人/日	8人/日	4人/日	6人/日	7人/日
合計			-	-	-	-	-	10人/日	209人/日	256人/日	113人/日	183人/日

※表参道の乗降人員は、表参道・安川町・大猷院二荒山神社の3か所の停留所の乗降人員を合算した。表参道の乗降人員は、ICカード利用者のみを計上した。

(5) 路線定期運行バスの平均収支率

- 「路線定期運行バスの平均収支率」は、「とちぎの公共交通」において毎年モニタリングしていることから、平成 27 年度～令和 3 年度の実績値を基にした近似曲線より将来値を算出しました。
- 平成 27 年度～令和 3 年度の実績値は、コロナ禍の影響や近年の燃料費や人件費の高騰により減少傾向にありますが、各種施策の実施により公共交通利用者を増加させることで、実績平均値（平成 27 年度～令和 3 年度）「56.0%」を目標値とします。なお、平成 30 年度は異常値として対象外としました。

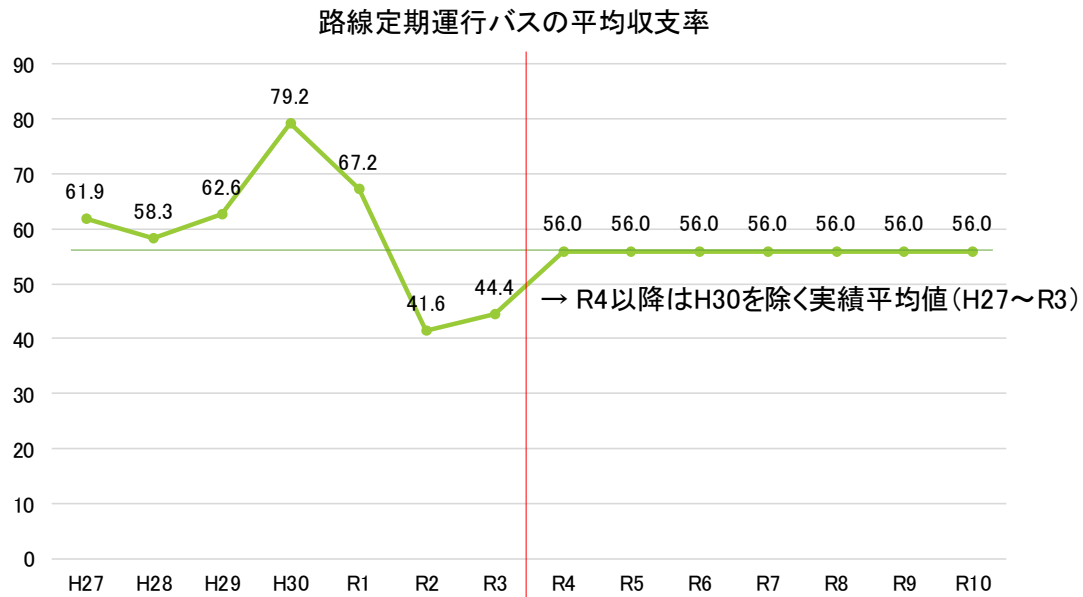


図 5-4 路線定期運行バスの平均収支率

